

会 告 目 次

会告目次	1
IPSJカレンダー	2
研究発表会開催通知	4
第20回音声言語情報処理研究会	4
第4回モバイルコンピューティング研究会	4
第24回音楽情報科学研究会	4
第77回システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究会	} 合同研究会
第87回マルチメディア通信と分散処理研究会	
第89回グラフィクスとCAD研究会	6
情報処理学会第56回全国大会参加および論文集予約案内 (於: 中央大学理工学部)	8
「分散システム運用技術シンポジウム'98」参加者募集	8
「マルチメディア, 分散, 協調とモバイル (DICOMO '98) シンポジウム」論文募集	9
「DAシンポジウム'98」論文募集	10
「オブジェクト指向'98シンポジウム」論文募集	10
情報処理学会論文誌「人文科学とコンピュータ」特集への論文投稿のご案内	11
大学の理工系学部情報系学科のためのコンピュータサイエンス教育カリキュラムJ97頒布のお知らせ	12
平成10年度学会誌モニタ募集のお知らせ	12
論文査読をお願いした方々へ	12
会員の皆様へのお知らせ・お願い (会員係)	13
平成10年度会費および論文誌講読費の納入について (会員係)	14
支部だより	14
会議案内 (協賛・後援)	15
「The 20th International Conference on Software Engineering」参加者募集	16
第425回理事会	17
採録原稿一覧	17
新規入会者の紹介	17
情報処理学会第56回全国大会予約申込書	19
情報処理学会「行事」申込書	20
情報処理学会「書籍」申込書	21
平成10年度学会誌モニタ申込書	22
会告体裁の変更について	22
雑報	15
寄贈図書一覧	15



社団法人 情報処理学会
Information Processing Society of Japan

<http://www.ipsj.or.jp>

本誌共定価 1680円 (本体1600円)

IPSJカレンダー

行事名	会場名	開催日	参加締切	論文/応募締切	掲載頁	担当
第123回自然言語処理研究会	東京外国語大	平成10年 1月19日(月)	当日のみ		38-12 7p	研
連続セミナー97 デジタル図書館	工学院大	1月19日(月)	定員になり次第		38-11 15p	事
第114回データベースシステム研究会	岡山県立大	1月19日(月) ～20日(火)	当日のみ		38-12 7p	研
四国支部 講演会	徳島大	1月20日(火)			38-12 29p	四
The 12th International Conference on Information Networking (ICOIN-12)	Communications Research Laboratory	1月21日(水) ～23日(金)				国
第60回アルゴリズム研究会	奈良先端大	1月22日(木)	当日のみ		38-12 8p	研
第110回知能と複雑系研究会	大阪市立大	1月22日(木) ～23日(金)	当日のみ		38-12 9p	研
第109回コンピュータビジョンとイメージメディア研究会	ATR	1月22日(木) ～23日(金)	当日のみ		38-12 9p	研
ウィンターワークショップ・イン・恵那	恵那峡国際ホテル	1月22日(木) ～23日(金)			38-10 23p	研
第17回数理モデル化と問題解決研究会	奈良先端大	1月23日(金)	当日のみ		38-12 10p	研
第17回プログラミング研究会	NTT	1月23日(金)	当日のみ		38-12 11p	研
利用者指向の情報システムシンポジウム	東洋大	1月23日(金)	12月26日(金)		38-11 21p	研
北陸支部 講演会	金沢大	1月23日(金)			38-11 33p	陸
関西支部 平成9年度第2回見学会	ATR	1月27日(火)	定員になり次第		38-12 29p	西
第86回マルチメディア通信と分散処理研究会	東洋大	1月29日(木) ～30日(金)	当日のみ		38-12 11p	研
第26回グループウェア研究会	東洋大	1月29日(木) ～30日(金)	当日のみ		38-12 11p	研
第33回ヒューマンインタフェース研究会	北大	1月29日(木) ～30日(金)	当日のみ		38-12 12p	研
第76回情報メディア研究会	北大	1月29日(木) ～30日(金)	当日のみ		38-12 12p	研
第87回設計自動化研究会	情報処理学会	1月30日(金)	当日のみ		38-12 13p	研
デジタル・ドキュメント・シンポジウム'98	工学院大	1月30日(金)	平成10年 1月16日(金)		38-12 21p	研
第37回人文科学とコンピュータ研究会	高松大	1月31日(土)	当日のみ		38-12 14p	研
分散システム運用技術シンポジウム'98	東工大	2月5日(木) ～6日(金)	1月23日(金)		39-1 会8p	研
第20回音声言語情報処理研究会	日本IBM	2月5日(木) ～6日(金)	当日のみ		39-1 会4p	研
東海支部 平成9年度専門講習会	KKR	2月9日(月) ～10日(火)	定員になり次第		38-12 28p	海
Asia and South Pacific Design Automation Conference 1998 (ASP-DAC '98)	バシフィコ横浜	2月10日(火) ～13日(金)				国
第4回モバイルコンピューティング研究会	横浜ランド マークタワー	2月13日(金)	当日のみ		39-1 会4p	研
関西支部セミナー 「NCの最新動向と新技術」	NTTコミュニケー ションプラザ	2月13日(金)			39-1 会15p	西
第24回音楽情報科学研究会	NTT厚木研究 センタ	2月19日(木) ～20日(金)	当日のみ		39-1 会4p	研
第77回システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究会	北陸先端大	2月26日(木) ～27日(金)	当日のみ		39-1 会5p	研
第87回マルチメディア通信と分散処理研究会	北陸先端大	2月26日(木) ～27日(金)	当日のみ		39-1 会5p	研
第89回グラフィクスとCAD研究会	情報処理学会	2月27日(金)	当日のみ		39-1 会6p	研
インタラクション'98	東大	3月3日(火) ～4日(水)			38-9 26p	研
第2回ワールドワイドコンピューティング国際会議(WWCA'98)	筑波第一ホテル	3月4日(水) ～5日(木)			38-12 22p	国
東海支部 講習会	名工大	3月6日(金)			39-1 会14p	海

行事名	会場名	開催日	参加締切	論文/応募締切	掲載頁	担当
設計教育者のためのVHDL講習会	阪大	3月11日(水) ～13日(金)	2月9日(月) 定員になり次第		38-12 23p	研
北陸支部 平成9年度北陸地区学生による研究発表会	富山商船高専	3月14日(土)			38-12 28p	陸
設計教育者のためのVHDL講習会	東大	3月16日(月) ～18日(水)	2月9日(月) 定員になり次第		38-12 23p	研
情報処理学会第56回全国大会	中大理工学部	3月17日(火) ～19日(木)			39-1 会8p	事
連続セミナー97 データウェアハウス	工学院大	3月24日(火)	定員になり次第		38-11 15p	事
アルゴリズム特許の現状と問題点 シンポジウム	東京農工大	3月24日(火)			38-10 24p	研
The IEEE Third International Conference on Automatic Face and Gesture Recognition (FG '98)	Big Roof (奈良)	4月14日(火) ～16日(木)			38-8 21p	研
9th Int'l Workshop on Software Specification and Design (IWSSD-9)	伊勢志摩ロイヤル ホテル	4月16日(木) ～18日(土)			38-10 25p	研
The 20th International Conference on Software Engineering (ICSE 98)	京都国際会館	4月19日(日) ～25日(土)			39-1 会16p	国
Int'l Workshop on Aspect-Oriented Programming		4月20日(月)			38-10 25p	研
Software Engineering on Parallel and Distributed Systems (PDSE '98)		4月20日(月) ～21日(火)			38-10 25p	研
Int'l Symposium on Object-oriented Real-time Distributed Computing (ISORC '98)		4月20日(月) ～22日(水)			38-10 25p	研
1998年並列処理シンポジウムJSPP '98	名古屋国際会議場	6月3日(水) ～5日(金)			38-10 26p	研
グラフィクスとCADシンポジウム	早大	6月12日(金) ～13日(土)		3月上旬	39-1 本79p	研
マルチメディア, 分散, 協調とモーバ イル (DICOMO '98) シンポジウム	指宿岩崎ホテル	7月8日(水) ～10日(金)		3月13日(金)	39-1 会9p	研
Asia Pacific Computer Human Interaction 1998 (APCHI '98)	Shonan Village Center	7月15日(水) ～17日(金)		1月31日(土)	38-9 29p	国
DAシンポジウム '98	遠鉄エンパイア ホテル	7月16日(木) ～18日(土)		3月11日(水)	39-1 会10p	研
画像の認識・理解シンポジウム (MIRU '98)	岐阜市未来会館	7月29日(水) ～31日(金)		1月17日(土)	38-11 27p	研
オブジェクト指向 '98シンポジウム	東京都内	9月16日(水) ～18日(金)		4月10日(金)	39-1 会10p	研
坂井記念特別賞候補者の募集				1月16日(金)	38-12 6p	総
論文賞候補の論文推薦				1月30日(金)	38-12 24p	編
論文誌特集号 「分散協調支援とその応用」				2月28日(土)	38-10 27p	編
論文誌特集号 「マルチメディア通信と分散処理」				5月1日(金)	38-11 28p	編
論文誌特集号 「ヒューマンインタフェースとインタラクション」				5月29日(金)	38-12 24p	編
論文誌特集号 「人文科学とコンピュータ」				8月31日(月)	39-1 会11p	編

注1) カレンダーは本会主催・共催の行事を会告既掲載分より抜粋しています。

注2) 研究会の発表申込締切は開催日の90日前です。年間予定表および研究会発表申込書は2, 4, 8月号付録(会告)に掲載されています。

注3) 担当欄の記号は次のとおりです。研: 研究会係, 事: 事業係, 国: 国際係, 編: 編集係, 総: 総務係, 経: 経理係, 会: 会員係,
規: 情報規格調査会, 北: 北海道支部, 東: 東北支部, 海: 東海支部, 陸: 北陸支部, 西: 関西支部, 中: 中国支部, 四: 四国支部, 九: 九州支部。
各行事についての問合せ等は担当係までお願いします。

注4) 掲載頁欄の記号は次のとおりです。本: 本誌, 会: 会告(付録)

研究発表会開催通知

(平成10年2月5日～2月27日)

◆第20回 音声言語情報処理研究会 (発表件数:16件)

(主査:中川聖一,幹事:岡田美智男,小林哲則,畑岡信夫)

日時 平成10年2月5日(木)13:00~22:30

6日(金)8:30~15:00

会場 日本IBM 熱海保養所「熱海ゆとりうむ」

[熱海市伊豆山字七尾原1173-534. JR:熱海下車,バス(4番乗場から七尾循環):日本IBM熱海ゆとりうむ前(約25分. 320円)下車.バスは熱海発毎時10分,30分,50分(9時台~16時台.ただし12時台は20分,50分のみ.) Tel(0557)80-5500,5501]

議題 テーマ:音声によるヒューマンインタフェース

2月5日(木)

[13:00~17:30]

- (1)「共話」-創発的対話の対話モデル
伊藤 昭, 矢野博之(通信総研)
- (2)発声制約の緩和を可能にするサーチの検討
小高俊之, 天野明雄, 畑岡信夫(日立)
- (3)単語を認識単位とした日本語の大語彙連続音声認識
西村雅史, 伊東伸泰, 山崎一孝, 荻野紫穂(日本IBM)
- (4)単語bigramとクラスbigramの融合による話題変化に頑健な統計的言語モデル
肥田木康明, 小林哲則(早大)
- (5)統計的言語モデルにおける高頻度形態素連鎖の辞書登録に関する一考察
小林紀彦, 和田陽介, 中野裕一郎, 小林哲則(早大)
- (6)招待講演:高齢者に優しいヒューマンインターフェース
口ノ町康夫(生命工学研)

[20:00~22:30]

- (7)パネルディスカッション(1):音声認識におけるrobustnessの新paradigmをさぐる 司会:河合 剛(東大)
パネラー:(未定)
- (8)パネルディスカッション(2):日本語音声対話処理研究に必要なもの 司会:伊藤克亘(電総研)
パネラー:(未定)
- (9)ビデオ発表
平沢純一(NTT)

2月6日(金)

[8:30~12:00]

- (10)キーワードスポッティングにおける基本周波数情報の利用について
菅原孝夫(阪大), 山下洋一(立命館大)
溝口理一郎(阪大)
- (11)キーワードスポッティングに基づくニュース音声の話題分類
恒川俊克(阪大), 山下洋一(立命館大)
溝口理一郎(阪大)
- (12)音声キーワードによるネットサーフィンの実現
桂浦 誠, 中村 哲, 鹿野清宏(奈良先端大)
- (13)ネットサーフィンにおける音声入力語彙とその役割
西本卓也, 小林 豊, 新美康永(京都工繊大)
- (14)音声認識サーバ-SPOJUS-を利用したWWWブラウザの音声操作システム
甲斐充彦, 中野崇広, 中川聖一(豊橋技科大)
- (15)雑音・残響環境下でのHMM分解・合成法によるハンズフリー音声認識
滝口哲也, 中村 哲, 鹿野清宏(奈良先端大)
- (16)音素決定木に基づく連続音声認識
金 星一, 北添徹郎(宮崎大)
- (17)日本語発音教育への音声認識の利用

河合 剛, 広瀬啓吉(東大)

(18)合成音声によるインタラクティブな教示音声をCAIシステム
篠崎 翼, 阿部匡伸(NTT)

◆第4回 モバイルコンピューティング研究会

(発表件数:10件)

(主査:水野忠則,幹事:小橋喜嗣,寺岡文男,渡辺 尚)

日時 平成10年2月13日(金)10:00~17:05

会場 横浜ランドマークタワー 三菱電機A,B会議室

[横浜市西区みなとみらい2-2-1 横浜ランドマークタワー19F. JR根岸線:投球東横線:桜木町下車,徒歩2分.*3F(研究会の表示有)よりエレベータをご利用ください. Tel(045)224-2709(清水道夫)]

議題

[10:00~12:20]

- (1)移動先で同じユーザ環境を実現するための携帯ファイルサーバ
木村哲郎, 木津左千夫, 村永哲郎(東芝)
- (2)携帯端末向け地図提供システムの開発
神戸信裕, 阿部昭博, 島田孝徳, 中野 剛(松下電器)
- (3)Mobile Campus Noteの設計と実現
橋本英俊, 堀口雅志, 中辻さよ, 安川竜市
山口慎太郎, 秋山義博(金沢工大)
- (4)モバイル環境におけるユーザ満足度に着目したトラフィックマネジメント方式
宮本孝之, 勅使河原可海(創価大)

[13:20~17:05]

- (5)招待講演:CDMA Protocols for Mobile Communication
マイク・リュウ(オハイオ州立大)
- (6)モバイル環境における分散処理ソフトウェア開発の品質管理方式
内藤俊文, 小泉寿男, 片岡信弘(三菱電機)
- (7)ユーザ状況情報活用機構の実現と通信支援サービスへの応用
空 一弘(NTT)
- (8)RAID型空中データベースの提案
青野正宏(三菱電機), 渡辺 尚, 水野忠則(静岡大)
- (9)オブジェクト同期化モデルを用いた無線ネットワークでのデータ転送方式
黒田正博, 渡辺 尚
水野忠則(静岡大), 下間芳樹(三菱電機)
- (10)無線インフラを使ったマルチメディアデータ転送システムの開発
桜井鐘治, 下間芳樹(三菱電機)

◆第24回 音楽情報科学研究会 (発表件数:17件)

(主査:平賀 譲,幹事:松島俊明,村尾忠広,葉 孝之)

日時 平成10年2月19日(木)13:00~18:00

20日(金)10:00~17:20

会場 NTT厚木研究センタ

講堂およびプレゼンテーションルーム

[厚木市森の里若宮3-1. 新宿駅から小田急線:本厚木(東口)下車,バス(8番から小野橋経由森の里青山山行,7番から小野橋経由森の里青山学院大学行:通信研究所前(約25分)下車.または小田急線:愛甲石田(北口)下車,バス(4番から森の里青山山行,松陰女子短期大学行):通信研究所前(約20分)下車. Tel(0462)40-3655(小坂直敏)]

議題

2月19日(木)

[13:00~16:50]

- (1)音楽音響国際シンポジウム97報告(ISMA'97)
中村 勲(帝京平成大), 井戸川徹(埼玉工大)
田口友康(甲南大), 永井洋平(ヤマハ)

- 永井啓之亮 (筑波大), 足立整治 (ATR)
- (2) 楽音の波形構造と音色知覚について—三味線, ホーミー, 口琴の場合— 高澤嘉光 (電通大)
- (3) KL展開を用いた歌唱音源システム
足立雅人 (コルグ), 新井清嗣 (イクスクラ)
- (4) WWW上での歌声による曲検索システム
園田智也, 後藤真孝, 村岡洋一 (早大)
- (5) アンサンブル実演奏の自動アンミキサ
柏野邦夫, 村瀬 洋 (NTT)

[17:10~18:00] ●デモンストレーション

- (6) リアルタイム話速変換装置とその応用
今井 篤, 清山信正, 都木 徹, 宮坂栄一 (NHK)
- (7) 高品質音声分析変換合成法STRAIGHTの楽音への応用: 最初の一步
河原英紀 (和歌山大/ATR)
片寄晴弘 (和歌山大/LIST)
- (8) 歌声合成システム 吉田由紀, 中嶋信弥 (NTT)

2月20日 (金)

[10:00~12:00]

- (9) Sinusoidal Model を用いた楽音の接続について
榊原健一, 小坂直敏 (NTT)
- (10) 物理モデルによるモーフィングにおける音色知覚
引地孝文, 小坂直敏 (NTT)
- (11) Kagurame phase-I—事例ベースの演奏表情生成システム—
鈴木泰山, 宮本朋範, 西田深志
徳永健伸, 田中穂積 (東工大)

[13:00~17:20]

- (12) 譜面情報による楽曲の特徴付けの検討
鈴木真人, 杉山雅英 (会津大)
- (13) 音声分析変換合成法STRAIGHTにおける音源情報の精密化について
河原英紀 (和歌山大/ATR)
片寄晴弘 (和歌山大/LIST)
- (14) 母国語の違いによる音色知覚の差
村瀬邦子, 他 (トマティスジャパン)
- (15) 日本の「声の音楽」の諸相—共通の歌詞を用いた邦・洋楽の歌唱表現法の比較の試み— 中山一郎 (大阪芸大)
小島美子 (東京都江戸東京博物館)
上畠 力 (大阪教育大), 高木浩志 (NHK)
柳田益造 (同志社大), 天野文雄 (阪大)
小林範子 (北里大), 河内厚郎 (河内厚郎事務所)
- (16) 音声教育のための中国語有気無気音の識別
田 嘉鵬, 三輪譲二 (岩手大)
- (17) 音声認識における2段窓セグメント単位入力の有効性
二宮和則, 大槻恭士, 大友照彦 (山形大)

- * (6) ~ (8) のデモンストレーションの他にビデオデモコーナーも設ける予定です。
* このプログラムは暫定版です。本研究会に関する最新の情報は以下をご覧ください。
URL—<http://www.hamamatsu-pc.ac.jp/SIGMUS/>
* 電子情報通信学会 (音声研究会), 日本音響学会 (音声研究会, 音楽音響研究会) と共催。

[合同研究会]

◆第77回 システムソフトウェアと

オペレーティング・システム研究会

◆第87回 マルチメディア通信と分散処理研究会

(発表件数: 41件)

- OS (主査: 徳田英幸,
幹事: 石川 裕, 梅村恭司, 柴山茂樹)
- DPS (主査: 滝沢 誠,
幹事: 小花貞夫, 玉置政一, 東野輝夫)

日 時 平成10年2月26日 (木) 10:30~17:00

27日 (金) 9:00~16:30

会 場 北陸先端科学技術大学院大学

[石川県能美郡辰口町字旭台1-1. 金沢駅からJR: 西金沢 (5分), 北陸鉄道 (石川線): 新西金沢下車, 徒歩1分. または北陸鉄道 (石川線) 鶴来 (25分) 下車, JAIST shuttleバス (10分). Tel.(0761)51-1111 (代表)

URL—<http://www.jaist.ac.jp/>]

議 題 テーマ: 発展的システムソフトウェア, マルチメディア, 分散処理, インターネット

2月26日 (木)

[10:30~12:30] ●情報コンテンツ (A会場)

- (1) 利用履歴に基づくコンテンツ分類手法の検討
坂本 啓, 金井 敦 (NTT)
- (2) 関連度を用いたWeb文書のナビゲーション
南 俊朗, 織田 充 (富士通研)
- (3) 個人の視点に基づいた情報分類に関する提案とその実現例
庵 祥子, 鈴木英明 (NTT), 砂原秀樹 (奈良先端大)
- (4) 想起型情報検索システムについて
飯田敏幸, 松澤和光 (NTT)
池上徹彦 (NTTアドバンステクノロジー)
石野福弥 (一橋大)
今井賢一 (スタンフォード日本センタ)

[10:30~12:30] ●JAVA & HORB (B会場)

- (5) 高速かつ移植性の高いJVMの実装
河合栄治, 砂原秀樹, 湊小太郎 (奈良先端大)
- (6) レプリケーション拡張HORBでのレプリカ間の一貫性管理
山口実靖, 若狭 建, 相田 仁, 齊藤忠夫 (東大)
- (7) HORBのレプリケーション拡張におけるレプリカの自動制御
若狭 建, 山口実靖, 相田 仁, 齊藤忠夫 (東大)
- (8) 青果物市況情報データベースNAPASSを用いたJAVA- RMIとHORBの性能比較
本田茂広, 下村道彦 (三菱スペース・ソフトウェア)
南石晃明 (東北農業試験場)
木浦卓治, 二宮正士 (農業研究センタ)
大谷信博 (三菱スペース・ソフトウェア)

[13:30~15:00] ●実時間処理カーネル (A会場)

- (9) エンベディッドシステム用オンチップリアルタイムOSの設計評価
岩崎裕江, 長沼次郎, 遠藤 真 (NTT)
- (10) Memory Reservation System in Real-Time Mach
中島達夫 (北陸先端大)
- (11) メディア処理用組み込みOS 藤井茂樹, 中谷信太郎
松本正治, 平井 誠, 清原督三 (松下電器)

[13:30~15:00] ●複製管理, グループ通信 (B会場)

- (12) Pseudo-Active Replication of Objects in Heterogeneous Processors
石田常竹, 滝沢 誠 (電機大)
- (13) オブジェクトグループ通信の階層的配送機構による実装
和田智仁, 吉田隆一 (九工大)
- (14) 分散オブジェクト複製配置プロトコルRORPについて
森 章文, 渡辺 尚 (静岡大)

[15:30~17:00] ●基本システム, アルゴリズム (A会場)

- (15) 仮想記憶のバッキングストアの効率的制御
石井秀浩, 高野陽介, 黒岩 実, 横田 実 (NEC)
- (16) 保護ドメイン簡約による分散実行環境の保護
古川 陽, 柴山悦哉 (東工大)
- (17) 大域並行計算とメッセージ評価スケジューリング
前川博俊, 齊藤隆之, 千葉哲央
(デジタル・ビジョン・ラボラトリーズ)

[15:30~17:00] ●応用システム (B会場)

- (18) 分散環境におけるソフト生産 (開発) の評価メトリクス方式
内藤俊文, 小泉寿男, 片岡信弘 (三菱電機)

- (19) オブジェクト連携型ワークフローシステムのモデルの提案と検証 片岡信弘, 小泉寿男, 黒田清隆 (三菱電機) 白鳥則郎 (東北大)
- (20) 光・ICハイブリッドカードを用いて受ける行政電子化サービスシステム 砂田 智, 徳田安史, 岡田謙一, 松下 温 (慶大)

2月27日 (金)

[9:00~9:45] ●招待講演

- (21) ソフトウェア発展原理 片山卓也 (北陸先端大)

[10:00~11:30] ●モバイル (A会場)

- (22) PHSを用いた地理的位置の把握 大森博雄, 重野 寛, 藤巻貴宏 岡田謙一, 松下 温 (慶大)

- (23) 動的なメディア選択が可能なMobileIPの設計と実装 小林 勝 (北陸先端大)

- (24) アプリケーションプログラム参加の省電力制御に必要な機能の考察 古市実裕, 相原 達 (日本IBM)

[10:00~11:30] ●マルチメディアシステム (B会場)

- (25) HDTV-VODシステム 吉田 浩, 鷹取功人, 大野次彦, 下間芳樹 (三菱電機)

- (26) 環境に耐性のあるAV同期再生, 伝送方式 山口孝雄, 荒川 博, 鴨川 郷, 柴藤 稔 (松下電器)

- (27) 顔画像を用いた拡張現実空間実現のためのインタフェース 坂本祐之, 柴田義孝 (東洋大)

[12:45~14:45] ●ネットワークI (A会場)

- (28) リフレクタエージェントを用いた自律組織間診断システム 明石 修, 菅原俊治, 村上健一郎, 丸山 充 高橋直久 (NTT)

- (29) アドレス・プリフィックスの動的割り当てシステムの考案 河部 展 (奈良先端大), 門林雄基 (阪大) 山口 英 (奈良先端大) 尾家祐二 (九工大/奈良先端大)

- (30) 分担型キャッシングシステムの設計と実装 酒井明広, 知念賢一, 砂原秀樹, 湊小太郎 (奈良先端大)

- (31) 衛星利用共有型情報配信サービスの設計と実装 秋山康智 (三菱電機)

[12:45~14:45] ●拡張可能カーネル (B会場)

- (32) OS/omicon第4版におけるシステム拡張機構の設計と実現 佐藤元信, 早川栄一, 並木美太郎 (農工大) 高橋延匡 (拓殖大)

- (33) OS/omicon第4版のデータ管理機構「意紙」サーバにおけるリンク機構の設計と実現 高野了成, 佐藤元信, 早川栄一, 並木美太郎 (農工大) 高橋延匡 (拓殖大)

- (34) 拡張可能OSのfail-safe機構 光来健一, 千葉 滋, 益田隆司 (東大)

- (35) カーネルスケジューラの動的置換 柏木一彦, 田中義照, 最所圭三, 福田 晃 (奈良先端大)

[15:00~16:30] ●ネットワークII (A会場)

- (36) World Wide Webにおける接続キャッシングの評価 武居太郎, 大澤範高, 弓場敏嗣 (電通大)

- (37) ATM結合PCクラスタのTCP再送機構の解析と並列データマイニングの性能向上 小口正人, 新谷隆彦, 田村孝之, 喜連川優 (東大)

- (38) IPネットワークにおける通信品質サービスクラスの実現 日下貴義, 菅野政孝 (NTTデータ)

[15:00~16:30] ●ネットワーク応用 (B会場)

- (39) 基幹システム向けディレクトリレプリケーション・サーバの開発 平島陽子, 菊地 聡, 由井 仁 (日立)

- (40) スケーラビリティを考慮したインターネット環境にお

る個人認証システムの構築

濱口 伸, 岡山聖彦, 山口 英 (奈良先端大)

尾家祐二 (九工大)

- (41) 仮想OS・ネットワークによる分散組み込みシステム開発環境 吉田利夫, 茅野真一郎, 小泉寿男 (三菱電機)

*宿泊場所として松崎旅館 (能美郡辰口町辰口3-1. Tel.(0761)51-3111, Fax(0761)51-3114) に26日1泊60名分を確保 (相部屋) しております (13,000円/泊, 含懇親会費)。また, 26日夜に松崎旅館にて懇親会 (宿泊しない方は会費: 8,000円) を予定しております。宿泊希望者ならびに懇親会希望者は2月6日 (金) までに照会先にお申し込みください。

照会先: 石川 裕 (RWC) E-mail:ishikawa@rwcp.or.jp

Tel(0298)53-1651 Fax(0298)53-1652

◆第89回 グラフィクスとCAD研究会

(発表件数: 9件)

(主査: 大野義夫, 幹事: 青野雅樹, 小堀研一, 斉藤 剛)

日 時 平成10年2月27日 (金) 10:30~16:00

会 場 情報処理学会 会議室 (芝浦)

[東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7F. JR (山手線, 京浜東北線): 田町 (東口) 下車, 徒歩7分。または地下鉄 (浅草線, 三田線): 三田下車, 徒歩10分. Tel(03)5484-3535]

議 題

[10:30~12:30]

- (1) メガネ試着システムの試作 三浦 浩, 山根大作, 山戸佐知男 (日本無線)

- (2) 輪郭線制御によるステンシル調レンダリング手法 亀山貴樹, 望月義典, 近藤邦雄 (埼玉大)

- (3) 音楽演奏情報による仮想演奏者のCGアニメーション生成 松本英明, 後藤真孝, 村岡洋一 (早大)

- (4) パンプマッピングを応用した柔軟な衣服表現法 佐伯貴利, 古川貴雄, 清水義雄 (信州大) 筒口 拳, 曾根原登 (NTT)

- (5) 複数の平行断層列に基づく高品質ポリウムデータの再構成 立野玲子 (臨床研), 東多恵子 (お茶の水女子大) 櫻庭 均 (臨床研), 藤代一成 (お茶の水女子大)

- (6) ポリゴンモデルの形状変形におけるメッシュの再構成 小林順一, 大野義夫 (慶大)

- (7) 特徴抽出と稜線操作によるポリゴンメッシュの簡単化 早野勝之, 松岡 司, 植田健治 (リコー)

- (8) 手術シミュレーションのためのバブルを用いた3次元メッシュの生成 高橋英嗣, 金子豊久 (豊橋技科大)

- (9) 成長を考慮した樹皮のCGモデル 広田光一, 加藤弘和, 金子豊久 (豊橋技科大)

[13:30~16:00]

- (10) 複数の平行断層列に基づく高品質ポリウムデータの再構成 立野玲子 (臨床研), 東多恵子 (お茶の水女子大) 櫻庭 均 (臨床研), 藤代一成 (お茶の水女子大)

- (11) ポリゴンモデルの形状変形におけるメッシュの再構成 小林順一, 大野義夫 (慶大)

- (12) 特徴抽出と稜線操作によるポリゴンメッシュの簡単化 早野勝之, 松岡 司, 植田健治 (リコー)

- (13) 手術シミュレーションのためのバブルを用いた3次元メッシュの生成 高橋英嗣, 金子豊久 (豊橋技科大)

- (14) 成長を考慮した樹皮のCGモデル 広田光一, 加藤弘和, 金子豊久 (豊橋技科大)

~~~~~

\*\*\*研究会 論文募集\*\*\*

発表申込方法 研究会発表申込書の様式で, 発表題目, 発表者名 (登壇者に○), 略称所属, 概要 (50字程度), 発表申込者連絡先 (住所, 氏名, Tel., Fax., E-mail) を明記の上, 各研究会照会先までe-mailまたはFax.で直接お申し込みください。下記の研究発表会以外および特に指定がない研究会は, 事務局研究会担当宛 (E-mail:sig@ipsj.or.jp Fax(03)5484-3534) に開催日の3ヵ月前までにお申し込みください。

◆マルチメディア通信と分散処理研究会

日時 平成10年4月23日(木)・24日(金)  
会場 横浜ランドマークタワー  
発表申込締切 平成10年1月30日(金)  
照会先 関 清隆(鉄道総研) E-mail:seki@rtri.or.jp  
Tel(042)573-7310 Fax(042)573-7367

\*申込みいただいた電子メールには受理確認のメールを返信しますので、必ずご確認ください。

◆グラフィクスとCAD研究会

日程 平成10年4月24日(金)  
会場 情報処理学会 会議室(芝浦)  
議題 テーマ:仮想環境の生成と表示および一般  
発表申込締切 平成10年1月30日(金)  
\*できるだけE-mailをお願いします。  
照会先 加藤伸子(筑波技術短大)  
E-mail:nobuko@a.tsukuba-tech.ac.jp  
Tel/Fax(0298)53-5388

フロンティア領域ジョイント研究会1998 (FJK'98) (仮称)  
開催案内および論文募集のお知らせ

- ◆自然言語処理研究会
- ◆知能と複雑系研究会
- ◆コンピュータビジョンとイメージメディア研究会
- ◆コンピュータと教育研究会
- ◆人文科学とコンピュータ研究会
- ◆音楽情報科学研究会
- ◆音声言語情報処理研究会
- ◆電子化知的財産・社会基盤研究会 (\*平成10年度新設)

フロンティア (FR) 領域には、本学会の中で最も学際的な領域をカバーする研究会が勢ぞろいしております。

新しい分野との出会いにこそ未来の情報処理の芽があるという信念のもと、これまでは主に情報処理とその応用分野や異分野との懸け橋として活動して参りました。そしてこの度、FR領域8研究会どうしの新しい出会いとさらなる活性化のため、下記の要領で研究会集会の開催を予定しております。各研究会の研究発表会が全国大会のように同じ会期中に同じ場所で開催されます。(詳細については随時お知らせします。)

多くの会員の皆様の研究発表申込みおよび参加をお待ちしております。

さあ、未来の情報処理を一緒に切り拓いて行きましょう!

日程 平成10年5月27日(水)午後~29日(金)午後  
会場 ・総合研究大学院大学(神奈川県三浦郡)  
・生産性国際交流センター(神奈川県三浦郡)  
\*上記2会場は隣接しています。

●発表申込方法

通常の研究発表会と同様です。次号本欄の各研究会の論文募集を参照してください。

●研究集会参加方法、他

参加方法も通常の研究発表会と全く同様ですが、今回は特別に8研究会間の熱い相互交流を促進するために、通常とはひと味違った試みをいくつか準備しています。

- (1) 1つの研究会に参加登録すれば、他の研究会にも無料で参加(聴講)可能。さらに8研究会分の資料も入手できます。
- (2) 8研究会からの代表を一堂に集めパネルディスカッション開きます。(29日午後の予定)
- (3) 8研究会がそれぞれの活動を自己PRする様々な企画を準備

しています。

- (4) 27日の研究会終了後に懇親会を開きます。  
\*会費(当日払)は4,000円程度の予定です。  
\*参加希望の方はできるだけ事前にお申込みください。  
(事前に人数の把握をしたいのでご協力ください。)

●宿泊施設について

遠方から参加される方のために以下のとおり宿泊施設を団体予約しました。申込みの際には、氏名と所属研究会のほかにa.施設名, b.シングル/ツイン/4人部屋の別(ツイン, 4人部屋でroom mate(s)の指定がある場合は付記のこと), c.性別, d.年齢, e.朝食の要/不要を明記してください。受付は先着順とさせていただきます。

- ※5月27日(水)・28日(木)の両日とも。朝食は別途1,000円
- ・総合研究大学院大学(1,200円程度(税別)/1人)  
2人部屋/10室, 4人部屋/2室
- ・生産性国際交流センター(7,000円程度(税別)/1人)  
シングル/56室, ツイン/40室

- \*本研究会集会の最新情報やプログラム等は、今後の本欄と<http://www.ipsj.or.jp/>に掲載しますのでご覧ください。
- \*プログラム等の照会先: 平田圭二(NTT基礎研究所)  
E-mail:hirata@nefertiti.br1.ntt.co.jp Fax(0462)40-4725
- \*懇親会・宿泊等の申込および照会先:  
伊藤早苗(情報処理学会) E-mail:ito@ipsj.or.jp  
Tel(03)5484-3535 Fax(03)5484-3534

~~~~~

◆第3回 電子化知的財産・社会基盤研究グループ研究会

(発表件数:9件)

(主査:森 亮一, 幹事:工藤育男, 名和小太郎, 松本恒雄)
知的財産権に関する法律の整備は現在最も緊急の課題です。この問題を中心に、倫理や社会制度的な問題について、この分野の専門家も非専門家も集って、エンジニアもロイヤーもエコノミストもジャーナリストも教育者も、既成の枠を越えて議論する場を提供したいと考えています。

参加ご希望の方は直接会場にお越しください。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

日時 平成10年1月31日(土) 10:00~16:20
会場 図書館情報大学

[つくば市春日1-2. 東京駅(八重洲南口)より関東鉄道バス:つくばセンター下車(約70分), 徒歩7分。または上野駅よりJR(常磐線):土浦下車(約60分, 関東鉄道バス(筑波大学中央行):図書館情報大学下車。Tel(0298)52-0511(代表)

URL- <http://www.ulis.ac.jp/kouhou/gaiyo/19.html>]

議題

[10:00~12:00] ●シンポジウム:

著作権に関わる諸問題(1)

- (1) デジタルコンテンツの流通と著作権 須川賢洋(新潟大)
- (2) デジタル図書館における多言語情報アクセス
阪口哲男, 中尾 茂, 太田 純
ミリアンダルトア(情報大), 前田 亮(奈良先端大)
杉本重雄, 田畑孝一(情報大)

(3) 点字の電子化と著作権問題

大武信之, 河原正治(筑波技術短大)

[13:00~14:30] ●シンポジウム:

著作権に関わる諸問題(2)

- (4) 国文学研究資料, 情報, データベースの著作権に関わる諸問題
安永尚志(国文学研究資料館)
- (5) データベースの新たな法的保護について
三留奈々, 国枝容志生, 苗村憲司(慶大)

- (6) 電子透かしの応用：一般利用者の協力に基づく海賊版データ摘発手法 松井龍也 (NTT)
- [14:50~16:20] ●小特集：エレクトロニックコマース
- (7) OM-TXを利用したEC構築
矢口裕弥 (ラングトン研究所), 池田 誠 (会津大)
- (8) OM-TXを利用したコンテンツサーバーの構築
玉井 聡 (ビーイング), 池田 誠 (会津大)
- (9) OM-TXの決済システム
畠山則道 (INSエンジニアリング), 池田 誠 (会津大)

- *上記プログラムは暫定的なものです。最新の情報は以下のホームページをご覧ください。
- *参加費：当日会場にてお支払いください。
本学会会員：1500円, 学生会員：500円, 非会員：2500円
- *事前に登録する必要はありませんが、下記研究グループのメーリングリストへのご登録をお勧めします。
- *照会先：工藤育男 (ジャストシステム)
E-mail: lkuo_kudo@justsystem.co.jp Fax: (03)5412-3988
- *EIPメーリングリスト: eip-member@k.tsukuba-tech.ac.jp
(登録方法は下記ホームページを参照ください。)
- *EIPホームページ: <http://sda.k.tsukuba-tech.ac.jp/sig-eip/>
- *平成10年度からは研究グループから研究会へ移行します。新たに分科会方式を導入し、分野を限定し集中討議していきたいと考えております。今後の予定が決まり次第、メーリングリスト、もしくはホームページに公開していきます。

情報処理学会第56回全国大会参加
および論文集予約案内
(於：中央大学理工学部)

第56回 (平成10年前期) 全国大会の「講演論文集」ならびに「参加」の予約受付を開始いたします。論文集は売切れとなる場合がありますので、お早めにご予約ください。なお、「講演論文集」は、大会会場渡りまたは大会終了後の有料発送となります。また「参加」については、当日参加申込も可能ですが、論文集等の購入は先着順となります。大会メイン会場 (5号館5Fの5534) で開催される招待講演、公開パネル討論等は入場無料です。(詳細は2月号付録をご覧ください。)

大会日程および会場 平成10年3月17日 (火) ~19日 (木)
中央大学理工学部 (東京都文京区春日)

費用 付録巻末の「情報処理学会第56回全国大会予約申込書」をご参照ください。

参加費 情報処理 (賛助会員は会員に準ず)、電子情報通信、電気、照明、映像情報メディア、各学会個人会員は会員価格です。

論文集 B5判オフセット印刷 (発行日：平成10年3月17日)
分冊購入の場合1冊につきCD-ROM1枚付。セット購入の場合1セットにつきCD-ROM1枚付。(論文集4冊一揃、講演者索引、カバー付)

論文集内容

●第1分冊

- ・アーキテクチャ (計算機アーキテクチャ, システムソフトウェアとオペレーティングシステム, ハイパフォーマンスコンピューティング, 設計自動化)
- ・ソフトウェア科学・工学 (アルゴリズム, 数理モデル化と問題解決, ソフトウェア工学, プログラミング)

●第2分冊

- ・人工知能と認知科学 (人工知能, 自然言語処理, 音声言語情報処理, 視覚情報処理, 音楽情報科学)

●第3分冊

- ・データベースとメディア (データベース, 情報検索, メデ

ィアと情報)

- ・ネットワーク (マルチメディア通信と分散処理, 分散システム運用, マルチメディア符号化)

●第4分冊

- ・インタフェース (ヒューマンインタフェース, グループウェア, グラフィクスとCAD, 仮想現実感)
- ・コンピュータと人間社会 (情報システム, コンピュータと教育学習, コンピュータと社会, 医療分野への応用, 企業活動への応用, 標準化, その他)

●CD-ROM (全4分冊を1枚に収録)

- ・利用方法: Acrobat Reader3.0Jを添付してあります。これをインストールして、WWWブラウザ (例: Netscape等) でご覧ください。Windows, Macintosh, Unixに対応しています。先頭頁の項目、セッション名を選択することによりそのセッションの論文を表示します。
- ・データ形式: PDFデータとして収録しています。

申込方法 別冊巻末の「情報処理学会第56回全国大会予約申込書」にご記入のうえ郵便、FaxまたはE-mailにてお申込ください。また費用は、平成10年3月10日 (火) までに振込ください。

申込締切日 平成10年2月13日 (金) 必着

その後の申込には応じられない場合がありますのでご注意ください。

送料 (CD-ROM付)

4冊以下およびセット 全国一律 800円

5冊 1,400円: 北海道・九州

1,200円: 北東北 (青森, 秋田, 岩手)・

西近畿 (京都, 大阪, 奈良, 和歌山,

兵庫)・中国・四国

1,000円: 関東・甲信越・

南東北 (山形, 宮城, 福島)・東海・北陸・

岐阜・東近畿 (滋賀, 三重)

800円: 東京23区

CD-ROMのみの場合1枚につき全国一律 500円

行事No.S-DSM98

「分散システム運用技術シンポジウム'98」
参加者募集

ここ数年でコンピュータネットワークを核とした分散システムは社会的に浸透し、その重要性は年々高まる一方で。ネットワークおよび分散システムの運用に対する新たな要求も多く、解決すべき課題は多岐にわたっています。LAN環境では、より高速、高帯域のネットワークの構築/運用や、組織内の情報基盤としてのネットワーク (Intranetなど) の構築/運用方法、広域ではより高速に安定したネットワーク間接続の手法の検討が必要です。また、多くの要求を効率的に解決するような、新たなネットワーク管理および分散システム管理の枠組みも必要です。本シンポジウムは、これらのテーマについて議論を行うものです。多くの方々のご参加をお待ちしております。

日時 平成10年2月5日 (木) 9:30~17:20

6日 (金) 9:30~17:50

会場 東京工業大学 講堂 (東京都目黒区)

*参加申込の方には詳細を後日送付。

主催 情報処理学会 分散システム運用技術研究会

参加費 会員: 15,000円, 研究会登録会員: 10,000円,

学生：4,000円，非会員：18,000円

(いずれも論文集代を含む)

論文集のみ 5,000円 (送料，消費税込)

申込方法 本号会告欄または学会ホームページの行事申込書にてお申込みください。

申込締切 平成10年1月23日 (金)

申込/照会先 情報処理学会 シンポジウム係
〒108-0023 東京都港区芝浦3-16-20
芝浦前川ビル7F

E-mail:sig@ipsj.or.jp

Tel(03)5484-3535 Fax(03)5484-3534

http://www.ipsj.or.jp/sympo/mgyoji.html

プログラム

2月5日 (木)

○開会挨拶 (9:30~9:40) 林 英輔 (山梨大)

● [9:40~12:20] 広域ネットワークの運用技術

(1) 招待講演：広域ネットワーク構築・運用の心得

加藤 朗 (東大)

(2) インターネット電話の世界規模での管理運用モデルの設計と実験

新美 誠，直江宏一，渡邊晴美 (慶大)，塚田晃司 (日立)

(3) 地域内IX技術の運用と地域情報化への適用

八代一浩 (山梨県立女子短大)

笹本正樹 (ニスカ)，平川寛之 (山梨県工業技術センター)

山本芳彦 (サンテクノカレッジ)，林 英輔 (山梨大)

(4) WIDE IPv6ネットワークの運用とその問題点

角川宗近 (日立)，山本和彦 (奈良先端大)

加藤 朗 (東大)，新 善文 (日立)，若井宏美 (慶大)

● [13:40~17:20] ATMネットワークの構築/運用技術

(5) 招待講演：ATMネットワーク技術の展望

村上孝三 (阪大)

(6) 網の輻輳によるセル廃棄がIP over ATMのスループット特性に対して与える影響の評価

石橋勇人，岡部寿男，金澤正憲 (京大)

(7) 岡崎国立共同研究機構におけるATMネットワークの構築と運用

大野人侍 (岡崎国立共同研究機構)

(8) ATM LAN Emulationによる大阪大学キャンパス・ネットワークの構築

東田 学，門林雄基，下條真司，宮原秀夫 (阪大)

(9) ATM/IHEで構成した広帯域ネットワークの構築と検証実験

斎藤梅朗，他 (会津大)

(10) PVCを用いたATM LAN運用管理システム

西村浩二，加嶋裕二，相原玲二 (広島大)

2月6日 (金)

● [9:30~12:10] 組織内ネットワークとアプリケーション

(11) 招待講演：IntranetとMobile環境

進藤秀一 (NTTDoCoMo)

(12) 学生情報サービスにおける分散処理

大路茂市 (富士通徳島システムエンジニアリング)

(13) TCP/IP プロトコルを利用したパソコンネットワークのための電子黒板システム

平原貴行 (九州共立大)

山之上卓，澤田 崇，山根真人，堤宏智 (九州工大)

(14) 移動エージェントを利用したアプリケーションの構築

松崎正敏 (通信放送機構)

● [13:30~15:30] 組織内ネットワークの構築/運用技術

(15) 自律型ネットワーク端末 (PICKLES) を用いたシステム運用技法

木本雅彦，大野浩之 (東工大)

(16) squidによる分散キャッシュの効率的運用の検討

内藤広志 (大阪工大)

(17) 弱い一貫性管理方式を用いた複製データのアクセス効率化

白田由香利，飯沢篤志 (リコー)

(18) 分散システムの集中管理と自律分散制御実現へのアプローチ

西野正行，尾崎貴司，佐藤敏郎 (トヨタ自動車)

渡辺浩之 (NRIデータサービス)

● [15:40~17:40] パネルディスカッション

(19) Intranetの現状と将来 司会：大野浩之 (東工大)

パネリスト：NTT，富士通，NEC，トヨタ自動車，NRI他

○閉会挨拶 (17:40~17:50) 箱崎勝也 (電通大)



「マルチメディア，分散，協調とモバイル (DICOMO '98) シンポジウム」論文募集

DICOMO:Multimedia, Distributed, Cooperative and Mobile

「マルチメディア通信と分散処理」，「グループウェア」，「モバイルコンピューティング」研究会では，インターネットを中心とした通信技術から，マルチメディア通信，分散システム，グループウェア，モバイルコンピューティングまでの種々の分野について活発な論文発表や議論が行われてきています。昨年7月には「マルチメディア，分散，協調とモバイル (DiCoMo)」ワークショップが北海道ニセコで行われ，予想を超える発表があり盛況のうちに終わりました。また，11月には，この分野で権威のあるIFIPのFORTE/PSTV*97 (*) が上記研究会を中心として大阪で開催され，活発な議論が行われました。今年はAPCHI98 (**) などの国際会議も国内で開催される予定です。こうした状況の中で，本シンポジウムは，「マルチメディア通信と分散処理」，「グループウェア」，「モバイルコンピューティング」における研究活動をより活発にするとともに，今後の研究のあり方を検討するため，合宿形式により，論文発表と広範囲な視野にわたった有益な議論を行うことを目的とします。

(*) FORTE/PSTV97:International Conference on Formal Description

Techniques/Protocol Specifications, Testing and Verification 1997

(**) APCHI98:Asia Pacific Computer Human Interaction 1998

日 程 平成10年7月8日 (水) ~10日 (金)
会 場 指宿岩崎ホテル (鹿児島県指宿市)
主 催 情報処理学会 グループウェア研究会
モバイルコンピューティング研究会
マルチメディア通信と分散処理研究会

論文募集要領

OSI, ATM, LAN, プロトコル, 仕様記述, インターネット, イン트라ネット, マルチメディア通信, セキュリティ, ネットワークプロトコル, ネットワークアーキテクチャ, ネットワーク管理, ATMネットワーク, QoS制御, 分散処理, 分散OS, 分散アルゴリズム, 分散オブジェクト指向, 分散データベース, マルチメディア方式, マルチメディアシステム, マルチメディアネットワーク, 応用システム, グループウェア, 協調モデル, 電子会議, 遠隔教育, ワークフロー, 仮想環境, エージェント, WWW, 発想支援, モバイルコンピューティング, モバイルプロトコル, モバイルソフトウェア, モバイルグループウェア, 無線・移動体, などの「マルチメディア通信と分散処理」，「グループウェア」，「モバイルコンピューティング」に関する分野。学術的な研究論文のみならず，事例報告，問題提起などの論文も歓迎します。

応募方法

- (1) 2000文字(図表を含む、A4 1ページ程度)以内の論文概要(extended abstract)を提出してください。なお、上記論文概要には、題目、著者名、所属、連絡先(住所、Tel、Fax、E-mail)を併記してください。なお、E-mailでの投稿も認めます。
- (2) 応募論文は本シンポジウム実行委員会で審査します。
- (3) 採択されたものについては、本論文(本学会論文誌様式で8ページ以内)を提出していただきます。

スケジュール

- (1) 論文概要提出締切 平成10年3月13日(金) 必着
- (2) 論文審査結果通知 平成10年4月中旬
- (3) カメラレディ原稿締切 平成10年6月上旬

申込/照会先

グループウェア(GW) :

宗森 純 大阪大学大学院基礎工学研究科
E-mail:munemori@ics.es.osaka-u.ac.jp
Tel(06)850-6598 Fax(06)850-6599
〒560-0043 豊中市待兼山町1-3

モバイルコンピューティング(MBL) :

渡辺 尚 静岡大学情報学部
E-mail:watanabe@cs.inf.shizuoka.ac.jp
Tel(053)478-1464 Fax(053)475-4595
〒432-8011 浜松市城北3-5-1

マルチメディア通信と分散処理(DPS) :

東野輝夫 大阪大学大学院基礎工学研究科
E-mail:higashino@ics.es.osaka-u.ac.jp
Tel(06)850-6607 Fax(06)850-6609
〒560-0043 豊中市待兼山町1-3

参加費(予定) 会員50,000円 研究会登録会員:45,000円
学生:35,000円 非会員:55,000円
(いずれも論文集代, 宿泊費(2泊3日)込)



「DAシンポジウム'98」論文募集

設計自動化(DA)技術は、コンピュータ、VLSIなど電子装置の進歩を支える重要技術の1つとして、論理DA、レイアウトDA、テストDAといった各分野において発展を遂げ、多くの成果を生み出してきました。しかし、近年の電子装置の大規模・高性能化の進展もまた急であり、技術革新のニーズも大きく変容しつつあります。分野ごとのさらなるブレークスルーが求められると共に、分野にまたがる最適化設計技術やソフトウェア、ハードウェアを統合的に扱う協調設計技術などへのニーズが高まっております。また、実際の設計に適用しての性能評価などにも関心が深まりつつあります。さらに設計言語、設計資産(IP)などの国際的な標準化活動も活発に行われております。

本シンポジウムではこうしたDA技術の進展に役立つため、最新の技術発表と国際的な技術動向情報の交換を目的として発表と討論の場を提供するものです。

本シンポジウムに関する最新の情報は、設計自動化研究会ホームページ(<http://www.vdec.u-tokyo.ac.jp/SIGDA/>)でご覧になれます。

日程 平成10年7月16日(木)~18日(土)
会場 遠鉄エンパイアホテル(浜松市館山寺町1891)

主催 情報処理学会 設計自動化研究会

論文募集要項

トピックス(予定)

- ・設計事例
(マルチメディアLSI/機器の設計, プロセッサ設計, 大学での事例など)
- ・ディープサブミクロン関連技術
(システムオンシリコン, 低電力設計手法/ツール, 遅延最適化, パストランジスタ論理等)
- ・システム設計
(HW/SW協調設計, 特定用途向けCAD等)
- ・機能/論理/回路設計検証
(各種シミュレーション, 形式検証, 検証システム等)
- ・論理合成
(組み合わせ論理回路合成/最適化, ハイレベル合成等)
- ・自動レイアウト
(フロアプランニング, タイミングドリブンレイアウト等)
- ・テスト設計自動化
(テストパターン生成, テスト容易化設計, テスト合成等)
- ・CADフレームワーク, 設計システム
(CADツール統合化, 設計工程管理等)

応募方法

- (1) アブストラクト(A4版用紙1枚程度, 投稿論文の分野も記入)に通常の研究発表申込書を添えて, 申込先へ送付ください。
- (2) E-mailでの申込みも受け付けます。(1)と同様の内容をプレーンテキスト形式で, sig@ipsj.or.jpにお送りください。区別のため必ずSubjectフィールドに半角(US-ASCII)文字で[DA-Sympo]をつけてください。
- (3) 採録された場合, 本論文は研究会発表形式で6頁とします。

スケジュール

- (1) 論文概要応募締切 平成10年3月11日(水) 必着
- (2) 採否通知 平成10年4月20日(月)
- (3) カメラレディ原稿提出締切 平成10年6月9日(火)

申込/照会先

情報処理学会 シンポジウム係
〒108-0023 東京都港区芝浦3-16-20
芝浦前川ビル7F
E-mail:sig@ipsj.or.jp Tel(03)5484-3535
Fax(03)5484-3534

参加費 正会員:44,000円, 研究会登録会員:39,000円
学生:25,000円, 非会員:49,000円(いずれも論文集代, 宿泊費, 懇親会費を含む。消費税込)



「オブジェクト指向'98シンポジウム」論文募集

オブジェクト指向はソフトウェア開発の広範な領域に影響を及ぼすようになってきましたが、それだけに技術上、適用上の課題も多様化しています。またコンポーネントウェアに基づいた新しいソフトウェア開発や、ネットワークの普及を背景とした分散コンピューティングの世界も急速に拡大しています。ソフトウェア工学研究会では95, 96, 97年とオブジェクト指向シンポジウムを開催し、オブジェクト指向でのソフトウェア開発

に関して実践面から技術の最先端までの幅広いテーマを多面的にとりあげ、多くの方の参加をいただきました。98年にも、上記を含めた新しい技術の広がりを踏まえて、以下の要領でオブジェクト指向'98シンポジウムを開催します。多数の論文のご投稿をお待ちしております。

日 程 平成10年9月16日(水)～18日(金)
会 場 東京都内(未定)
主 催 情報処理学会 ソフトウェア工学研究会

論文応募要領 テーマ

- 下記を中心とした広くオブジェクト指向に関連するテーマ
- ・ソフトウェアの開発と管理
分析, 設計, コンポーネントウェア開発, ビジネスオブジェクト, プログラミング, テスト, メトリクス, プロジェクト管理, 教育
 - ・再利用
パターン, フレームワーク, コンポーネントウェア, ソフトウェアアーキテクチャ
 - ・実践と経験
オブジェクト指向での開発事例, 評価, 既存システムからの移行, 特定ドメインへの適用
 - ・基盤技術, 支援環境
言語, Java, 分散オブジェクト管理, CORBA, CASE, リポジトリ, オブジェクト指向データベース, GUI
 - ・分散, 並行オブジェクト指向システム
ネットワークアプリケーション, 分散処理システム, 並行処理システム, エージェント

応募方法

- (1) 投稿論文は、フルペーパーまたはショートペーパーの2種類を募集します。特にショートペーパーでは開発や研究の途中報告も歓迎します。フルペーパーは通常の研究会の報告の様式で8頁以内、ショートペーパーは4頁以内とします。各論文の先頭に、フルペーパーまたはショートペーパーの別を明記してください。
- (2) 発表ご希望の方は、上記に通常の研究会発表申込書を添えて提出してください。
E-mailでの応募を歓迎します。TeXとWordのテンプレートについては、ソフトウェア工学研究会ホームページ(<http://www.comp.ae.keio.ac.jp/lab/iijima/sigse.html>)をご覧ください。

原稿送付先および照会先

〒211-88 川崎市中原区上小田中4-1-1
富士通研究所ソフトウェア研究部 上原三八
E-mail:oo98@soft.flab.fujitsu.co.jp
Tel(044)754-2675(直通) Fax(044)754-2570

スケジュール

- (1) 論文応募締切 平成10年4月10日(金)
- (2) 採否通知 平成10年6月5日(金)
- (3) カメラレディ原稿提出 平成10年7月6日(月)

プログラム・実行委員(予定)

青山幹雄(新潟工科大), 鯉坂恒夫(和歌山大), 飯島 正(慶大), 井上 健(横河電機), 上原三八(富士通研), 大西淳(立命館大), 小野寺民也(日本IBM), 岸 知二(NEC), 杉山安洋(日大), 津田道夫(日立), 中所武司(明大), 中

谷多哉子(東大), 野呂昌満(南山大), 萩原正義(マイクロソフト), 羽生田栄一(オージス総研), 広本 治(CAC), 深澤良彰(早大), 藤岡 卓(三菱電機), 古川善吾(九大), 本位田真一(東芝), 松岡 聡(東工大), 三ッ井欽一(日本IBM), 山口 浩(日本サン), 山本隆広(NTT), 山本里枝子(富士通研)



情報処理学会論文誌「人文科学とコンピュータ」 特集への論文投稿のご案内

論文誌「人文科学とコンピュータ特集号」編集委員会
委員長 八村広三郎

情報処理学会の論文誌において、下記の要領で「人文科学とコンピュータ」をテーマに特集号を企画しております。

パソコンの低価格化, 高機能化, インターネットや大容量メディアの普及が人文科学研究に多大な影響を与えるとともに、それらの情報システムを駆使した、新しい境界領域の研究分野が広がっています。それに従って、人文科学研究の要望を取り入れた、要素技術や情報システムの研究開発が不可欠となっています。また、情報システムが人間や社会に与えるインパクトの研究の必要性もさげばれています。

そこで、これに関連した研究者の方々に対して、「人文科学とコンピュータ」に関する最新の研究内容を広く募集いたします。

なお今回は、論文誌編集の新しい制度である「ゲストエディタ制度」を用います。

募集論文内容

「人文科学とコンピュータ」に関連した

- (1) データベース
 - ・構築ツール開発
 - ・インデクシング
 - ・入力インタフェース
 - ・検索方法およびインタフェース
 - ・研究支援システム
 - ・地理情報システム
 - ・その他データベース構築に関する実践的研究
- (2) テキスト処理
 - ・文字処理
 - ・多国語対応
 - ・電子辞書の構築, 利用
 - ・大量文字情報の処理
 - ・漢字処理
 - ・ハイパーテキスト
 - ・SGML, XMLなど
 - ・フルテキストデータベース
 - ・コーパス
 - ・文の理解, 意味処理, その他自然言語処理
- (3) イメージ処理
 - ・マルチメディア
 - ・画像データベース
 - ・動画処理
 - ・デジタルミュージアム
 - ・画像検索
 - ・画像解析
 - ・三次元計測
 - ・画像計測
 - ・グラフィクス
 - ・画像処理
- (4) 数量的分析
 - ・画像情報の数値解析
 - ・音声情報の数値解析
 - ・言語情報の数値解析
 - ・人文データの数値解析
- (5) 情報技術の社会的側面
 - ・情報化と社会
 - ・情報流通
 - ・情報環境と人間
 - ・著作権
 - ・情報倫理
- (6) その他

投 稿 要 領

論文の執筆要領 「情報処理学会論文誌」原稿執筆案内による

ります。論文投稿規約は「情報処理」平成9年6月号に掲載されています。
査読手続き 通常の論文誌投稿論文と同一ですが、著者照会の期間が通常よりも短縮される可能性があります。
投稿締切 平成10年8月31日(月)
投稿論文には、「人文科学とコンピュータ」特集と朱書きして下さい。
特集号予定 平成11年3月
特集号編集委員
編集委員長：八村広三郎(立命館大)
編集委員：及川昭文(総研大)、北橋忠宏(阪大)、杉田繁治(民博)、平川秀樹(東芝)、山田奨治(日本文研)

期間 原則として1年間とします。
対象号 学会誌39巻4号～40巻3号
謝礼 貴重なご意見をいただいた方には薄謝を贈呈します。
募集人員 特に定めませんが、応募者数によっては当委員会
で調整させていただくことがあります。
応募締切 平成10年2月21日(金)必着
*巻末の申込書をFaxするか、またはメールでお申し込みください。
申込/照会先 情報処理学会 学会誌モニタ係
〒108-0023 東京都港区芝浦3-16-20
芝浦前川ビル7F
E-mail:editj@ipsj.or.jp
Tel(03)5484-3535 Fax(03)5484-3534

大学の理工系学部情報系学科のための
コンピュータサイエンス教育カリキュラムJ97
頒布のお知らせ

本学会情報処理教育カリキュラム調査委員会J97策定ワーキンググループ(J97-WG)では、標記カリキュラムを策定し、報告書としてまとめました。
目次概要は以下のとおりです。

- 目次概要
- ・大学の理工系学部情報系専門学科の役割
 - ・CS教育カリキュラムJ97の設計
 - ・J97の提示方法

本報告書を下記によりおわけします。ご希望の方は学会誌会告欄または学会ホームページの「書籍」申込書にてお申込みください。

頒布価格 1,500円(送料、消費税込)
書籍名 M-J97(略称)

平成10年度学会誌モニタ募集のお知らせ
学会誌編集委員会

学会誌「情報処理」をよりよくするために編集委員一同努力を続けておりますが、学会誌についての会員の方々の評価や希望をうかがい、今後の改善に役立てるために、モニタ制度を設けております。

関心のある方はぜひふるってご応募ください。

応募の資格 正会員または学生会員で、モニタの役割を積極的に果たしていただける方。

モニタの役割 学会誌毎号の巻末の所定用紙を用いて、毎月提出する。

- ・記事に対する感想・意見
- ・記事テーマの提案
- ・そのほか全般的な意見・提案など

注)学会誌の記事をすべて読むといったことは必ずしも必要ではありません。自分の立場や問題意識、得意とする分野などを基準とした「独断と偏見による」自由な意見を期待します。

論文査読をお願いした方々へ

論文誌編集委員会

学会の機関誌、なかでも論文誌の刊行は学会の最も重要な活動の一つであります。それだけに論文の査読は、内容の技術的水準や、読みやすさなどを評価して、その採否を判断する非常に責任の重い仕事であります。その性格上、報いられることの少ない、奉仕的なものにならざるを得ません。とくに当学会の論文誌は複数の査読者による並列査読を実施しており、多くの方々に大変なご無理とご協力、ご尽力をお願いいたしております。

ここに学会として、ご査読をお願いした方々のお名前の一覧表を掲げて感謝の意の一端を表すとともに、論文誌をさらに充実したものとしていくために、今後とも一層のご協力をお願いする次第です。

なお、今回掲載分は、平成9年1月から12月までの論文誌編集委員会採否決定分の方々です。

相沢輝昭、合田憲人、相田 仁、青江順一、青山幹雄、赤松 茂、秋葉友良、秋元晴雄、阿草清滋、浅井 清、浅井健一、浅川吉章、浅田尚紀、浅野孝夫、鯉坂恒夫、芦原 評、東 基衛、阿曾弘具、麻生英樹、麻生川稔、足立暁生、安部憲広、天海良治、天野 要、天野真家、雨宮真人、有木康雄、有澤 博、有山正孝、安生健一、安藤秀樹、飯島純一、飯田安津夫、五十嵐善英、池坂守夫、池田克夫、池原 悟、井佐原均、石川徹也、石川 博、石川 裕、石川真澄、石川佳治、石崎一明、石崎 俊、石田 亨、石田慶樹、磯田定宏、磯部祥尚、磯道義典、井田哲雄、板倉 稔、市川周一、市村 哲、市吉伸行、出澤正徳、伊藤彰則、伊藤 昭、伊藤紘二、伊藤秀昭、伊藤英則、伊藤裕康、伊東幸宏、稲葉真理、乾 伸雄、戌崎俊一、井上 潮、井上克司、井上克郎、井上謙藏、猪原茂和、今井桂子、今井 浩、今井正治、今泉貴史、今宮淳美、井宮 淳、岩佐英彦、岩崎一彦、岩崎英哉、岩田 彰、岩竹 徹、岩沼宏治、岩間一雄、岩山 真、上田和紀、上田完次、植田佳弘、上田良寛、上野元治、上野義人、上原邦昭、上原三八、浮田輝彦、牛島和夫、宇田川佳久、内尾文隆、打浪清一、内平直志、宇津宮孝一、梅尾博司、梅崎太造、梅谷征雄、梅村 護、浦谷則好、江原暉将、遠藤 勉、大岩 元、大久保英嗣、大久保好章、大沢英一、大澤映二、大澤 暁、大沢 裕、大須賀昭彦、大谷昌弘、大槻 繁、大西 淳、大野尚郎、大野義夫、大淵竜太郎、大町真一郎、大森健児、大森 匡、大和田勇人、岡崎彰夫、岡田謙一、岡田康治、岡田美智男、岡田 稔、岡田義邦、岡村耕二、岡本敏雄、岡本正義、小川克彦、小川重義、小川 均、小川泰嗣、荻原剛志、奥乃 博、奥村明俊、奥村 学、小倉敏彦、小澤一雅、小野寺秀俊、小柳津育郎、小柳 滋、小柳義夫、海尻賢二、角田良明、角田博保、影井清一郎、笈 捷彦、籠 浩昭、笠原博徳、梶尾次郎、梶原誠司、梶原信樹、片岡信弘、片桐恭弘、勝野裕文、勝本道哲、加藤和彦、加藤寛次、加藤潤三、加藤恒昭、加藤伸子、門林理恵子、金崎克己、金田康正、金子邦彦、金子俊一、金子豊久、金子正秀、金田悠紀夫、上林憲行、亀田雅之、亀山研一、唐津治夢、川合 慧、川合英俊、河口英二、川越恭二、川崎 淳、菅 隆志、菅野文友、上林弥彦、菊池 豊、菊野 亨、木澤 誠、岸 知二、岸野文郎、岸本光弘、喜多伸之、北川高嗣、北川 一、

北川博之、木谷 強、北橋忠宏、北村泰彦、喜連川優、絹川博之、紀 一誠、木下哲男、木下俊之、木村 泉、木村成伴、木村文隆、木村康則、木本晴夫、清木 康、日下部茂、串田高幸、楠本真二、沓沢淳之助、工藤知宏、國枝義敏、國藤 進、久保秀士、久保田晃弘、久保田和己、久保田光一、倉立尚明、樽松 明、黒澤 馨、黒沢由明、黒須正明、黒田 満、桑原和宏、郡司隆男、小池 淳、小池汎平、小泉寿男、小國 力、小嶋弘行、児玉祐悦、小長谷明彦、小畑正貴、小花貞夫、小林孝次郎、小林重信、小原和博、小堀研一、古宮誠一、近藤邦雄、齊藤農文、齊藤正史、齊藤康己、佐伯元司、酒井 浩、坂下善彦、坂田真人、坂野 鋭、坂部俊樹、坂村 健、桜井幸一、桜井成一郎、佐々政孝、佐藤一郎、佐藤和洋、佐藤宏介、佐藤文明、佐藤 誠、佐藤雅彦、佐藤三久、佐藤幸男、佐藤 豊、寒川 光、澤井秀文、沢村 一、塩原守人、鹿野清宏、品川嘉久、篠原 武、柴田義孝、柴山悦哉、柴山 潔、柴山茂樹、渋谷政昭、島崎真昭、嶋津好生、島津 明、清水俊幸、下辻成佳、下原勝憲、下村隆夫、尺長 健、首藤公昭、白井英俊、白石 博、白川洋充、白川友紀、白鳥則郎、新谷虎松、末吉敏則、菅野政孝、菅村 昇、菅原研次、杉浦 洋、杉原正顯、杉山健司、鈴木英之進、鈴木 薫、鈴木千里、鈴木宏正、妹尾義樹、関 清隆、世木博久、関 浩之、瀬崎 薫、曾根光男、曾和将容、高岡忠雄、高木浩光、高田 治、高藤政雄、高橋 修、高橋 薫、高橋 伸、高橋 亨、高橋直久、高橋裕信、高橋義造、瀧 和男、滝沢 誠、瀧本英二、田口 東、竹井和昭、竹澤寿幸、竹下 亨、竹島 卓、竹林洋一、竹谷 誠、田胡和哉、田代 勤、伊達 博、館村純一、田中二郎、田中輝雄、田中敏光、田中秀俊、田中義一、田邊 昇、谷 英明、谷 正之、谷口健一、谷口倫一郎、玉置 久、玉置政一、田村進一、田村秀行、垂水浩幸、譚 学厚、近山 隆、張 紹良、中所武司、塚本昌彦、月本 洋、築山修治、築山俊史、津田孝夫、津田道夫、土田賢省、土田正士、鶴岡信治、鶴田節夫、鶴征征城、程 子学、勅使河原可海、寺井秀一、寺島信義、寺中勝美、寺野隆雄、土井美和子、東条 敏、徳永健伸、徳山五郎、徳山 豪、所真理雄、戸沢義夫、殿塚 勲、富田文明、富安洋史、鳥居俊一、鳥居達生、苗村憲司、長尾 真、中川聖一、中川彦彦、中川正樹、中小路久美代、中澤 修、中澤公孝、中沢文彦、中島 浩、中島克人、中島秀之、中嶋正之、中嶋八十一、長嶋雲兵、中條拓伯、中田秀基、中田育男、中田和男、永田守男、中谷広正、中野浩嗣、中野美由紀、中野康明、中村章人、中村克彦、中村史朗、中村良三、中山剛、中渡瀬秀一、名取 亮、生天目章、並木美太郎、榑崎修二、新実治男、西 直樹、西尾章治郎、西川博昭、西田友是、西田豊明、西田広文、西野文人、西原清一、西村真一郎、西谷卓史、布広永示、沼尾正行、野口泰生、野瀬隆、乃万 司、野呂昌満、芳賀博英、萩田紀博、箱崎勝也、橋田 温、長谷川隆三、八村広三郎、笈田 弘、服部進実、服部文夫、花田孝郎、馬場敬信、馬場 健、馬場口登、濱崎陽一、浜田長晴、林 幸雄、端山 毅、原尾政輝、原嶋秀次、原田耕一、原田紀夫、原田康徳、半田恵一、松垣博章、東野輝夫、疋田輝雄、樋口昌宏、一松 信、日比野靖、平井 誠、平石邦彦、平岩 明、平川秀樹、平川正人、平川 豊、平木 敬、平澤宏太郎、平澤茂一、平田圭二、平田富夫、平野 聡、平松幸男、廣瀬通孝、廣田豊彦、深澤良彰、深海 悟、福井義成、福島邦彦、福島俊一、福田 晃、福留恵子、福本 聡、藤田 博、藤田昌宏、藤田正幸、藤田米春、藤野喜一、藤野清次、伏見信也、藤村直美、藤原 融、藤原 譲、二木厚吉、船津重宏、古川 進、古川哲也、朴 泰祐、朴 美娘、星 徹、星野 聰、穂鷹良介、堀内 一、堀口 進、堀越 彌、本位田真一、本多弘樹、前田 隆、牧野武則、牧野光則、牧之内顕文、増井俊之、増山 繁、間瀬健二、松井くにお、松井正一、松井知己、松岡 聡、松下武史、松下 温、松田晃一、松田秀雄、松永俊雄、松本 尚、松本裕治、松山公一、真名垣昌夫、真鍋義文、真野 健、真野芳久、丸川勝美、丸山 勉、三池誠司、三浦憲二郎、三浦大亮、三浦孝夫、水谷 伸、水野忠則、溝口徹夫、溝口理一郎、南 敏、美濃導彦、宮内直人、宮川正弘、宮崎 聡、宮崎敏彦、宮崎収兄、宮崎正俊、宮崎正弘、宮野 悟、宮本衛市、宮本俊介、宗森 純、村岡洋一、村上和彰、村上昌己、村田正幸、村山優子、室田一雄、毛利友治、本村真人、毛吉文男、森真一郎、森 辰則、森 秀樹、森下真一、森継修一、守屋慎次、八尾 徹、矢島章夫、安浦寛人、八杉昌宏、安永尚志、安信千津子、安村通見、山内 宗、山上俊彦、山口和紀、山口高平、山口喜教、山崎重一郎、山崎勝弘、山下雅史、山田敬嗣、山田誠二、山田博三、山村雅幸、山本毅雄、山本 強、山本博資、山本幹雄、湯浅太一、湯上伸弘、横尾英俊、横尾 真、横田一正、横田治夫、横田将生、横矢直和、吉川正俊、吉澤康文、吉田和幸、吉田健一、吉田幸二、吉田 将、吉田年雄、吉田紀彦、吉永 努、吉原郁夫、吉本富士市、米崎直樹、米澤保雄、米田友洋、曆本純一、若菜 忠、和英一、渡辺勝正、渡辺俊典、渡辺豊英、渡辺正信、渡辺弥寿夫、M.J.マクドナルド、F.M.キッシュ

会員の皆様へのお知らせ・お願い

【新入会員勧誘のお願い】

お近くに情報処理に関心をお持ちの方、情報処理関連の学術研究あるいは事業に携わっている方で、入会をご希望の方がいらっしゃいましたら、ぜひご紹介ください。

WWWのホームページ (<http://www.ipsj.or.jp/>) では最新の活動内容、入会に関する情報等をご案内し、内外の多くの方々にご覧いただいておりますホームページからの入会申込も可能になりました。また、「入会のおすすめ」(学会誌3月・9月号巻末)もご利用ください。

関連学会の電気・電子情報通信・照明・映像情報メディア各学会員で在会証明書を入会申込書に添付した場合には、入会金(2,000円)が免除となります。

●入会金、年会費、購読費(平成10年度)

会員種別	入会金	年会費	学会誌	*論文誌	研究会登録	
個人 会員	正会員	2,000円	9,600円	無料送付	有料 6,930円 (消費税込)	有料 毎年改定 (消費税込)
		—	4,800円	無料送付	有料 6,930円 (消費税込)	〃
賛助会員	—	** 1口 50,000円	無料送付	有料 6,930円 (消費税込)	口数により 優遇	
講読員	—	—	—	1口28,224円 (消費税込) セット配付	—	

* 非会員の論文誌年間購読費は、17,010円(消費税込)、単価は1冊1,700円~2,000円(消費税別)

** 何口でも加入できます。

【入会の手続きについて】

「入会申込書」(学会誌奇数月号巻末添付またはメール申込み)に必要な事項をご記入のうえ会員宛宛に送付いただき、同時に上表の入会金および年会費を郵便振替・銀行振込等でお振込ください。

・振込先

郵便：郵便振替口座 00150-4-83484

銀行：第一勧業銀行 虎ノ門支店 (普) 1013945

東京三菱銀行 虎ノ門公務部 (普) 0000608

名義人：社団法人 情報処理学会

お振込みの際には下記の2点についてご注意ください

- 銀行振込の場合：振込人氏名には必ず会員番号・氏名を明記してください。個人名で振込めない場合、数名分をまとめて振込む場合、行事参加費等の費用とまとめて振込む場合には、別途送金内訳詳細を会員係までご連絡ください。
- 郵便振替の場合：通信欄に送金内訳をご記入いただき、振込人住所、氏名、電話番号を必ず明記願います。

【会員資格等について】

会員資格は、毎年度(4月~翌年3月)自動継続となります。会費の滞納が1カ年以上におよぶときは、その直後の総会の議決を経て除名することがあります。

なお、退会を希望される場合は、退会届(会員番号、氏名、退会年月、退会希望の旨とその理由を明記したもの)を書面等

(E-mail, Fax可)にてご連絡ください。その際住所変更等があれば併記願います。退会届受理後、会費および論文誌購読費未納の方には、月割で退会精算請求させていただきます。

[電子メールのご利用について]

会員登録データの変更連絡、在会証明書の発行希望、会費の送金連絡など事務局への連絡・問合せにE-mail: mem@ipsj.or.jpをご利用ください。その際には、会員番号、氏名を必ず明記願います。

事務局では、会員の皆様へのお問い合わせにE-mailを使用しており、大変好評をいただいております。会員登録データへの連絡先電子メールの登録にご協力をお願いいたします。



平成10年度会費および論文誌購読費の 納入について

平成10年度会費および購読費の納付書(郵便振替用紙)を個人会員(一括扱い会員は除く)の方へ今月中旬に発送いたします。会費および購読費は前納を原則としておりますので、3月末日までにご納入いただきますようお願いいたします。

なお、平成9年度請求額に対する不足額のある方は、大至急(1月23日必着)ご納入ください。正会員の方で期日までに会費分の入金を確認できませんと、平成10年度役員選挙投票用紙は発送いたしませんのでご留意願います。(平成9年度請求額に対して50%以上の滞納がある方は9月号から送本を停止しております。)

[平成10年度会費・論文誌購読費]

平成9年度と同額で据置です。

会費:正会員 9,600円, 学生会員 4,800円

論文誌購読費:6,930円(購読料 6,600円+消費税330円)

[口座自動振替登録会員の方へ]

今月中旬に口座振替のご案内を送付いたします。平成10年度会費および購読費は平成10年3月27日(金)にご指定の口座から振替いたします。預金残高をご確認いただき振替額不足にならないようご注意ください。

振替された場合の各通帳には、それぞれ次のように印字されます。

銀行:「ダイヤモンドファクター」「コウザフリカエ」

「DF・ジョウショカイヒ」

郵便:「会費 ジョウショガツカイ」

自動振替中止あるいは平成9年度末退会をご希望の方は、その旨を書面等(E-mail, Fax可)にてご連絡ください。振替後の返金はできませんのでご注意ください。

なお、新規申込または口座変更の方は、下記申込方法をご参照のうえお申込みください。

新規申込・口座変更・自動振替中止の締切:

平成10年2月13日(金)必着。

口座自動振替登録 申込方法

(1) 銀行口座登録の場合

「預金口座振替依頼書」(Vol.38, No.9会告p36掲載)にご記入、ご捺印のうえ申込先へご郵送ください。

(2) 郵便口座登録の場合

お近くの郵便局に通帳、印鑑をご持参いただき郵便局備付けの「自動振込利用申込書」に必要事項(下記参照)をご記入のうえ窓口へ提出してください。

[必要事項]

振込先口座番号:00150-4-83484

振込先加入者名:社団法人 情報処理学会

振込開始月:平成10年3月

払込日:27日

払込金の種類:会費 33

料金等支払人:会員の住所、氏名、電話番号(口座名義人と同一の場合省略可)

備考:会員番号

照会/申込先:情報処理学会 会員係

〒108-0023 東京都港区芝浦3-16-20

芝浦前川ビル7F

E-mail:mem@ipsj.or.jp Tel(03)5484-3535

Fax(03)5484-3534



支部だより

情報処理学会支部連絡先

北海道支部:北海道大学工学部情報工学科内

〒060-8628 北海道札幌市北区北13条西8丁目

E-mail: saito@huie.hokudai.ac.jp Tel(011)706-6819

Fax(011)706-6819

東北支部:東北工業大学通信工学科内

〒982-8577 宮城県仙台市太白区八木山香澄町35-1

E-mail: mkojima@titan.tohtech.ac.jp

Tel(022)229-1151(ext. 368) Fax(022)228-0447

東海支部:NTTデータ通信(株)東海支社内

〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦2-17-21 NTT DATA東銀ビル

E-mail: t-ipsj@tcp-ip.or.jp Tel(052)204-4517

Fax(052)204-4521

北陸支部:金沢工業大学内

〒921-8501 石川県石川郡野々市町扇が丘7-1

E-mail: abe@infor.kanazawa-it.ac.jp Tel(076)294-6708

Fax(076)294-6709

関西支部:(財)関西情報センター内

〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田1-3-1-800 大阪駅前第1ビル8F

E-mail: infor-soci@kiis.or.jp Tel(06)346-2543

Fax(06)346-2443

中国支部:NTTコミュニケーションウェア(株)中国支社事業推進担当内

〒733-8645 広島県広島市西区商工センター2-6-1

E-mail: yamada@cs.ehime-u.ac.jp Tel(089)927-9963

Fax(089)927-9973

四国支部:愛媛大学工学部内

〒790-8577 愛媛県松山市文京町3

E-mail: yamada@cs.ehime-u.ac.jp Tel(089)927-9963

Fax(089)927-9973

九州支部:NTTデータ通信(株)九州支社総務担当内

〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前1-17-21 NTT DATA博多駅前ビル

E-mail: arigam@kyr.nttdata.co.jp Tel(092)475-5123

Fax(092)475-5185

*各支部の最新情報は<http://www.ipsj.or.jp>からリンクしています。

東海支部 講習会

日時 平成10年3月6日(金)9:00~16:30

会場 名古屋工業大学2号館C棟I1教室

テーマ 「インターネット/イントラネットにおけるスマートシステム」

演題/講師

(a)「Java言語の応用事例について」(仮題)

鎌田富久(アクセス)

(b)「情報検索と異種情報の統合」

高橋克巳(NTT)

(c)「JavaによるWorld-Wide Computing環境」(仮題)

高木浩光 (名工大)

(d) 「大学におけるオンライン辞書情報の活用事例」

梅村恭司 (豊橋技科大)

定員 70名 (定員になり次第締切ります)

参加費 主催・共催会員 10,000円, 学生 2,000円,

一般 15,000円, テキストのみ 3,000円

申込方法 ハガキに「講習会申込み」と標記し, (1) 氏名, (2) 勤務先 (所属), (3) 連絡先 (住所・電話番号), 所属学協会名を明記してお申込みの上, 下記の方法で送金して下さい。入金確認次第, 参加証をお送りします。なお, テキストは当日受付にてお渡しします。

送金方法 銀行振込 (申込のハガキに「銀行振込」と必ず明記のこと)

さくら銀行名古屋支店 (普) 口座番号5589017

情報処理学会東海支部

申込/照会先 情報処理学会東海支部事務局

共催 電気学会東海支部, 電子情報通信学会東海支部, コンピュータ応用技術協会, 中部エレクトロニクス振興会, 東海インターネットワーク協議会, 経営情報学会東海支部

◆関西支部 支部セミナー「NCの最新動向と新技術」

日時 平成10年2月13日 (金) 13:00~17:00

会場 NTTコミュニケーションプラザ 松竹の間 (JR環状線「福島駅」より徒歩10分程度)

プログラム

13:00~13:40 「NC, NetPCの新潮流」

木村晋二 (奈良先端大)

13:40~14:40 「JavaとNetwork Computer」

北野敬介 (日本SUN)

14:40~15:40 「Mobile NCの新規格と標準化」

五十嵐秀樹 (日本IBM)

15:40~16:40 「Thin Client時代の情報システムへの期待」

廣瀬 正 (日立)

16:40~17:00 「総合討論」

定員 60名

聴講料 会員 7,000円, 学生 5,000円, 非会員 9,000円 (お支払いは開催当日, 現金でお願いします。)

申込方法 1) 所属機関, 2) 部課役職名, 3) 氏名, 4) 連絡先住所/電話番号/Fax番号/E-mailアドレス, 5) 会員区分 (会員, 非会員, 学生のいずれか) /所属学会名/をご記入の上, FaxまたはE-mailにて下記へお申し込み下さい。

申込先 Fax: Fax(06)346-2443 (関西支部事務局)

E-mail: motizuki@kanlab.sdl.hitachi.co.jp

(詳細はホームページをご参照下さい。)



会議案内 (協賛・後援)

◆: 本会協賛・後援 1. 開催日 2. 会場 3. 照会先 4. その他

【国内会議】

◆第242回講習会「高齢化社会における医療福祉産業と精密工学」

1. 平成10年1月28日 (水) 2. 総評会館 (都内千代田区)
3. (社) 精密工学会 Tel(03)3362-1979 Fax3367-0994

【国際会議】

◆The 2nd R.I.E.C. International Symposium on DESIGN & Architecture of Information Processing Systems Based on the Brain

Information Principles

1. 1998年3月16日 (月) ~3月18日 (水)
2. メルパルク仙台 (仙台市) 3. sympo@riec.tohoku.ac.jp

11th International Teletraffic Congress Seminar

1. 1998年10月27日 (火) ~29日 (木) 2. 横浜
3. 川島 (NTT-AT) e-mail:shima@annex.ntt-at.co.jp
http://www.convention.co.jp/itc/

○第5回生命工学シンポジウム

日時 平成10年2月18日 (水) ~19日 (木)
会場 工業技術院筑波研究センター共用講堂 (〒305茨城県つくば市東1-1-4)

参加費 無料, 講演資料 (英文) 配布

申込先 (財) 日本産業技術振興協会

〒105東京都港区虎ノ門1-19-5虎ノ門1丁目森ビル5F

Tel(03)3591-6202 Fax(03)3592-1368

主催/照会先 工業技術院生命工学工業技術研究所
総務部業務課 Tel(0298)54-6037
Fax(0298)54-6038

○C&C振興財団「国際会議論文発表者助成候補者募集」

海外での国際会議において, 半導体デバイス, 情報処理, 電気通信等の技術分野の論文発表をする研究者に会議出席のための費用を10~25万円の範囲で補助します。詳細は下記にお問い合わせください。

応募資格 国内の大学, 国立またはこれに準ずる研究所に在籍する研究者 (原則として40才以下) で, 経済的必要度が高く, かつ所定の時期迄に論文採用法が確定している方。

募集締切 平成10年度前期分は2月27日, 後期分は平成10年8月28日です。

照会先 〒108-01 東京都港区芝 5-7-1

(財) C&C振興財団 (担当 御宿)

Tel(03)3457-7711 Fax(03)3798-6599

寄贈図書一覧

(97-71) ジョン・エンク, ダン・W・ブラカースキー (著), キット (訳): "マルチベンダーネットワーク管理", 369p, (株) プレンティスホール出版, (1997-11): 3,800円+税

(97-72) 鈴木昭男 (著): "Access97で学ぶリレーショナル・データベース", 385p, (株) ソフト・リサーチ・センター, (1997-11): 3,200円+税

(97-73) 井手口健, 古賀広昭, 下塩義文, 上田直行 (共著): "情報通信システムの電磁ノイズ問題と対応技術", 182p, 森北出版 (株), (1997-11): 2,400円+税

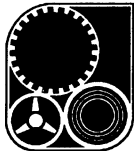
(97-74) 橋本 修 (著): "電波吸収体入門", 136p, 森北出版 (株), (1997-10): 2,400円+税

(97-75) H・M・ダイテル, P・J・ダイテル (著), 小嶋隆一 (訳): "C++プログラミング Vol.2", 485p, (株) プレンティスホール出版, (1997-12): 3,200円+税

(97-76) 太田忠一 (編), 植松康祐, 草薙信照 (共著): "文科系のためのコンピュータリテラシ [Windows版]", 263p, (株) サイエンス社, (1997-4): 2,200円+税

(97-77) ジョゼフ・P・ビーガス (著), 社会調査研究所, 日本アイ・ビー・エム (共訳): "ニューラル・ネットワークによるデータマイニング", 270p, 日経BP社, (1997-12): 4,000円+税

Call for Participation



ICSE98

Koji Torii, ICSE98 General Chair

Kokichi Futatsugi and

Richard Kemmerer, ICSE98 Program Co-chairs

FORGING NEW LINKS

The 20th International Conference on
Software Engineering
April 19-25, 1998

Kyoto International Conference Hall,
JAPAN

<http://icse98.aist-nara.ac.jp/>

Sponsored by

Science Council of Japan
Information Processing Society of Japan
Japan Society of Software Science Technology
IEEE Computer Society, Technical Committee on
Software Engineering
ACM Special Interest Group on Software Engineering

In cooperation with

Ministry of Education, Science, Sports and Culture
Ministry of Posts and Telecommunications
City of Kyoto
National Institute of Standards and Technology

Corporate Sponsors

Nippon Telegraph and Telephone Corporation
Nihon Keizai Shimbun, Inc.

Tutorials: April 20-21

- Software Patterns: Ralph Johnson (University of Illinois)
- Software Testing and Analysis for Practitioners: Mauro Pezze' (Politecnico di Milano) and Michal Young (University of Oregon)
- The Objectory Process: Philippe Kruchten (Rational Software Corporation)
- Cleanroom's Place in Today's Software development World: Chales Engle and Dave Fuhrer (Q-labs)
- Using Design Patterns to Construct Frameworks: Ralph Johnson (University of Illinois)
- Introducing the Unified Modeling Language (UML): Stephen Morris (The City University, London)
- C++ for Software Engineering: Standard Solutions for Standard Problems: Mehdi Jazayeri and Georg Trausmuth (Technical University of Vienna)
- Software Surgery: Keith Gallagher (Loyola College)
- What Every Software Engineer Should Know about Hypermedia for Designing WWW Applications: Michael Bieber (New Jersey Institute of Technology)
- The Experience Factory, How to Build and Run One: Victor Basili and Frank McGarry (University of Maryland)
- Requirements Analysis for Evolving Systems: Colin Potts (Georgia Institute of Technology)
- An Introduction to OMG/CORBA: Wolfgang Emmerich (University College London)
- COTS Product and Technology Evaluation: Concepts and Pragmatics, Kurt Wallnau and David Carney (Software Engineering Institute)
- Java (title tentative): James Gosling (Sun Microsystems)
- Distributed Software Architectures: Jeff Kramer and Jeff Magee (Imperial College)
- Design by Contract: Bertrand Meyer (Interactive Software Engineering Inc.)
- Software Forensics: Digging through the data, Shari Lawrence Pfleeger (Systems/Software, Inc.)

Keynote Presentation: James Gosling (Sun Microsystems, USA)

Technical Program and Panels: April 22-24

- Experiences with Software Process Improvement
- Project Estimation and Simulation
- Estimation Technologies
- Project and Workflow Management
- Software Evolution
- Large Scale and Complex System Development

- Formal Modeling
- Formal Methods and Object Orientation
- Managing Objects
- Object-Oriented Technology
- Reverse Engineering
- Novel Approaches to Design and Validation
- Testing
- Internet/Mobile Code/Security
- Computer Supported Cooperative Work
- Are Methods Really Useful?
- Component-Based Software Engineering
- Critical Issues in Software Evolution
- Computing and Communication in the Age of Mobility
- Formal Methods in 21st Century (Tentative)
- Are New-Generation Architecture Description Language Useful?

Joint Workshops: April 20-22, 24-25

- IWSSD-9 (9th Int'l Workshop on Software Specification and Design)
- ISORC'98 (Int'l Symposium on Object-oriented Real-time Distributed Computing)
- PDSE'98 (Int'l Symp. on Software Engineering for Parallel and Distributed systems)
- Int'l Workshop on the Principle of Software Evolution
- Int'l Workshop on Component-Based Software Engineering
- Int'l Workshop on Aspect-Oriented Programming
- Software Engineering over the Internet
- Engineering Hypertext for Future Information Systems
- PSMT (Workshop on Precise Semantics for Software Modeling Techniques)
- Workshop on Human Dimensions in Successful Software Development
- IWSEE5 (Int'l Workshop on Software Engineering Education)
- MSE'98 (Int'l Workshop on Multimedia Software Engineering)
- Int'l Workshop on Computing and Communication in the Presence of Mobility

Lessons and Status Reports: April 22-24

The reports will provide software engineers and managers with:

- insights that can be adapted and applied within their own work practices and organizations;
- information on the activities of software engineering practitioners doing innovative and potentially influential work;
- information on software engineering activities which form the basis for future generations of software engineering tools, techniques and management.

Posters and Research Demonstrations: April 22-24

Posters and Research Demonstrations provide an excellent opportunity to show late-breaking results and to discuss the results with the conference participants. Interactive communication and demonstration will be the most exciting and powerful presentation.

Asia Pacific Forum: April 20

ICSE98 provides an opportunity for exchanging ideas and/or information for researchers and practitioners in Asia-Pacific Region. At ICSE17 in Seattle 1994, we had a workshop on "Asian Approaches to Software Engineering". It was very successful. We are planning to have a similar event in Kyoto. And it will also be possible to implement other plans such as to have a forum to discuss emerging Asian software markets, or for special exhibits of software engineering tools made in Asia.

Doctoral Symposium: April 21

The ICSE 98 Doctoral Symposium is a one day workshop prior to the regular ICSE technical conference. The goal of the doctoral symposium is to publicly discuss research goals, methods, and results at an early stage of Ph.D. research and provide useful guidance for completion of the dissertation research. We are expecting participants coming from America, Europe, Asia-Pacific and all over the world.

ICSE98 EXPO: April 21-24

The Exhibit offers commercial exhibit space to vendors as well as research exhibit space for products by academic and government research laboratories. There are two types of exhibits:

- Commercial products from vendors.
- Research products from academia, industrial research laboratories, and government laboratories.

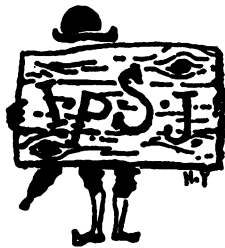
Some exhibit space remains, and applications will be accepted on a first-come first-served basis.

Welcome to Kyoto in Cherry Blossom Season

Spring of Kyoto is the glorious season having extremely beautiful cherry blossoms lining in the city. See you in Kyoto in cherry blossom season!

For detail information and registration, check <http://icse98.aist-nara.ac.jp/>

ICSE98 Conference Office:
C/O Kumiko Maemura/Torii Laboratory
Graduate School of Information Science, Nara Institute of Science and Technology
8916-5, Takayama-cho, Nara 630-01, JAPAN
Phone: +81-743-72-5314 / Fax: +81-743-72-5319
icse98-info@itc.aist-nara.ac.jp



採録原稿

情報処理学会論文誌

平成9年12月の論文誌編集委員会で採録された論文はつぎのとおりです(カッコ内は寄稿年月日)。

- ◇阪本 秀樹, 鈴木 偉元, 西村 一敏: ビデオサーバにおける特殊再生のための動的負荷バランス制御法 (96.11.26)
- ◇梅谷 俊治, 船曳 信生, 西川 清史: 最小極大マッチング問題のニューラルネットワーク並列解法の提案 (96.12.24)
- ◇村田 真: SGML文書データベースAstoria上のDTD上位互換性チェック (97.1.30)
- ◇村瀬 芳生, 松原 仁, 平賀 譲: 「倉庫番」の問題の自動作成 (97.4.7)
- ◇井上 渉, 西 宏之: プリネゴシエーション型電話接続システムの評価 (97.4.23)
- ◇太田 学, 高須 淳宏: 認識誤りを含む和文テキストにおける全文検索手法 (97.4.30)
- ◇安本 慶一, 安部 広多, 後藤 和裕, 東野 輝夫, 松浦 敏雄, 谷口 健一: マルチスレッド化された目的コードを生成するLOTOSコンパイラの実現 (97.5.2)
- ◇中村 健二, 宮西 洋太郎, 佐藤 文明, 水野 忠則: ドメインリネガに基づく複製管理方式の評価と改良 (97.5.7)
- ◇下城 巖, Takayuki Tachikawa, Makoto Takizawa: M-ary Consensus Protocol with Partially Ordered Domain (97.5.7)
- ◇村山 優子: コンピュータネットワークにおける正しい構成発見のための情報認証方式 (97.5.12)
- ◇知念 正, 佐藤 純, 橋本 浩二, 柴田 義孝: 圧縮ビデオデータ転送のためのバケットおよびフレームレート制御法 (97.5.19)
- ◇手塚 忠則, 池田 淳, 平島 毅, 井上 由紀子, 志水 郁二: 色空間の変形による色彩調整方式 (97.5.26)
- ◇岩倉 裕子, 白石 陽, 中内 靖, 安西 祐一郎: ユーザの行動の不確実性に対応した実世界指向分散ヒューマンインタフェースシステムの提案 (97.6.27)
- ◇河内谷 清久仁, 石川 浩: 携帯情報ブラウジングのための入力デバイス「NaviPoint」 (97.6.30)
- ◇間瀬 健二, クラウディオS. ビンヤネス, アロンF. ボビック: インタラクティブシステム設計のための時区間表現によるスクリプト記述法 (97.6.30)
- ◇西本 一志, 渡辺 洋, 馬田 一郎, 間瀬 健二: 創造的音楽表現を可能とする音楽演奏支援手法の検討—音楽能固定マッピング音楽の提案— (97.6.30)
- ◇馬場 昭宏, 田中 二郎: Spatial Parser Generatorを持ったビジュアルシステム (97.6.30)
- ◇西村 俊和, 古村 隆明, 八植 博史, 石田 亨: Community Viewer: 携帯端末を用いたコミュニティー活動の可視化 (97.6.30)
- ◇伊藤 敏彦, 小暮 悟, 中川 聖一: 協調的応答を備えた音声対話システムとその評価 (97.7.1)
- ◇椎尾 一郎: Scroll Display: 超小型情報機器のための指示装置 (97.7.1)
- ◇定方 徹, 田尻 哲男, 一之瀬 進: 受動的な選択モードにおけるユーザーの選択行動の解析 (97.7.4)
- ◇折居 茂夫: 数値計算のための並列計算機性能評価方法 (97.8.6)
- ◇Mohamed Hamada, Tetsuo Ida: Deterministic and Nondeterministic Lazy Conditional Narrowing and their Implementations (97.8.14)

第425回理事会

日時 平成9年11月27日(木) 17:30~21:30
 会場 情報処理学会会議室
 出席者 戸田会長, 高橋副会長, 片岡信, 白鳥, 杉山, 諏訪, 藤林, 村上, 片岡雅, 剣重, 坂井, 阪田, 鈴木, 東田, 水野各理事, 千葉, 林各監事, 大岩第56回全国大会プログラム委員長 (委任状による出席) 堀越副会長, 上林, 杉本, 牧之内, 宮原各理事 (事務局) 飯塚事務局局長ほか4名

議題(資料)

1. 承認事項

- 承-1 平成9年11月21日(現在)会員入退会状況

正会員	26,892 (名)	}	28,526 (名)
学生会員	1,631		
海外会員	3		
賛助会員	431 (社)		
 - 承-2 平成9年10月分収支状況
 - 承-3 名誉会員の推薦について
 - 承-4 日本工学会政策委員会の改組について—委員推薦のお願い—
 - 承-5 「アジア学術交流促進事業」への協力依頼について
 - 承-6 国内会議協賛・後援等依頼
 - 承-7 平成10年度研究会登録費の改定について
 - 承-8 シンポジウム等の開催願い/終了報告
 - 承-9 情報規格調査会委員の変更
 - 承-10 事務局職員(管理職)の採用について
 - 承-11 国際会議協賛・後援等依頼
- 以上11件を承認。

2. 審議事項

- 審-1 平成10年度役員候補者選出について
- 審-2 広報委員会の活動計画および広告取得へのご協力をお願い
- 審-3 研究会論文誌発行についての学会誌会告案

3. 報告事項

- 総-1 平成9年10月期開催会議
- 総-2 平成9年度将来ビジョン推進委員会重点実施事項の進捗状況
- 総-3 12月理事会について
- 総-4 「基礎研究の振興と科学技術教育」シンポジウムについて
- 機-1 第237回学会誌編集委員会議事録(抜粋)
- 機-2 第2回学会誌編集会議議事録
- 機-3 第223回論文誌編集委員会議事録(抜粋)
- 事-1 平成9年電気・情報関連学会連合大会報告
- 事-2 平成10年電気・情報関連学会連合大会委員会(第1回)議事録(抜粋)
- 事-3 第55回全国大会決算見込
- 事-4 第56回全国大会組織委員会・プログラム委員会(第4回)議事録(抜粋)
- 出-1 第3回電子化専門委員会タスクフォース議事録
- 出-2 電子化専門委員会タスクフォース活動状況
- 調-1 科学技術振興調整費対象総合研究課題の一次選考結果について
- 規-1 第122回規格役員会議事録(抜粋)
- 規-2 情報規格調査会規程実施細則の変更
- 国-1 IEEE-CS President's Roundtable Meeting出席報告
- 国-2 国際関係打ち合わせ議事録

新規入会者

平成9年12月の理事会で入会を承認された方々は次のとおりです(会員番号, 敬称略)。

【正会員】 浅田 純孝, 阿部 紘士, 阿部 真, 池田 佳代, 池田 誠, 市田 良夫, 稲垣 昭治, 乾 秀毅, 大塚 浩昭, 小川 隆也, 小野寺隆義, 加藤 正, 加藤 寿人, 角谷 浩享, 神鳥 泰章, 小池 秀幸, 五木田岳彦, 小窪 浩明, 五味 秀仁, 齊藤 康子, 桜木 卓也, 笹瀬 巖, 塩原 和雄, 清水 吉男, 島田 敏一, 渋谷 文博, 鈴木 哲, 武田 和昭, 辻 昭雄, 服部 正太, 韓 東洙, 別府 祥之, 宮内 充, 宮里 正孝,

宮本 範生, 村本 達也, 森本 誠至, 八木 牧人, 山川 善弘,
若松 昭彦, 染谷 広幸, 月川 淳, 仲間 正浩, 山崎 伸宏,
長尾 秀実, 嶋田雄二郎, 山本 康友, 山神 憲司, 鷹取 政信,
大久保 誠, 木下 正博, 窪田 晃, 阿部 豊子, 高木 昇,
中原 智治, 南雲 秀雄, 西野 敦士, 福田 民生, 古川 嘉識,
帆足啓一郎, 増尾 明彦, 矢野尾一男, 鈴木 秀一, 大森 正則,
宮本 仁史, 飯嶋 亨, 村山 聡, 横川 和之, 藤永 隆史,
伊串 亮二, 溝口 哲夫, 塚本 裕嗣, 郷原 菜穂子, 後藤 央明,
朝比奈 衛, 寺前 岳秋, 尾島 敬司, 葛田 剛, 金子 佳夫,
佐藤 剛, 篠原 秀直, 山本勇一郎, ラウ フーン・チュイン,
カク イクシユ, James. L. Davis. (以上85名)

【学生会員】花田 泰紀, 山口 実靖, 青木 紳也, 青木 利晃,
青木 寛, 東 多恵子, 阿部 正典, 有信 明彦, 伊藤 亮吾,
板橋 陽, 今村 将司, 岩田 真明, 内田 真司, 上田 祐美,
内海 卓哉, 大崎 寛達, 大島 一行, 岡原 弘典, 押野 卓,
尾嶋 基, 大金 勝一, 太田 徹, 河合 栄治, 鹿島 和郎,
加藤 朋幸, 川添 義成, 河村 学, 桐越 孝之, 楠元 佳紀,
黒瀬 淳, 小島 司, 後藤 匡史, 小宮 一朗, 齋藤 州,
佐藤 剛, 榛葉 洋光, 菅原 俊行, 杉浦 徹哉, 杉山奈美代,
竹岡 厚, 鈴木 邦彦, 田中 貴子, 千葉 裕, 謝 偉雄,
内藤祐一郎, 永戸 克裕, 中山 正樹, 新名 博, 根岸 直矢,
野田 知哉, 福田 妙明, 船津 輝宣, 原山 唱一, 牧野 浩之,

真柴 博樹, 増田 征貴, 丸尾 康博, 丸繁 卓彦, 御郷 康志,
松川 昌洋, 水野 業介, 森田 佳照, 山腰 哲, 矢作 厚之,
山口 佳樹, 雪下 淳, 余語 宣幸, 劉 劍利, 渡辺 高志,
鈴木 透, 田村 智洋, 藤原 優史, 寛 一彦, 西 康晴,
神山 直美, 田中 貴志, 田村 友彦, 菊池 賀子, 荒木 一宏,
韋 慶傑, 石田 常竹, 江島 嵩, 奥野 智江, 香月 智典,
加藤 数則, 小椋 祐治, 施 航, 清水 達也, 鈴木 貴明,
申 健翔, 関 峰伸, 高木 喜次, 田川 信一, 多々納 勉,
飛驒 和臣, 沼尻 務, 益子 弘明, 山口 実則, 林 杉,
吉川 和宏, 蓬田 義一, 王 文栄, 李 容旻, 大谷 健治,
片山 博誠, 本田 喜久, 山田 幸志, 市村 高志, 小池 龍信,
浦澤 俊雄, ダエン マロワ. (以上111名)

【賛助会員】(学) 東都学園 東都コンピュータ専門学校.
(以上1社)

【死亡退会者】

安藤 馨 君 東京都目黒区目黒3-14-13
深瀬 周一郎 君 茨城県ひたちなか市市毛663-6
ご逝去の訃音に接しここに謹んで哀悼の意を表します。

情報処理学会第56回全国大会予約申込書

(お一人1枚にて、下記ご記入ください。申込締切日：2月13日(金)、支払期日：3月10日(金))

分冊	予約価	定価(当日以降)	部数	金額
第1分冊(CD-ROM付)	7,350円	9,450円		
第2分冊(CD-ROM付)	7,350円	9,450円		
第3分冊(CD-ROM付)	7,350円	9,450円		
第4分冊(CD-ROM付)	7,350円	9,450円		
セット(CD-ROM付)	25,200円	33,600円		
CD-ROM	6,300円	12,600円		
受取方法(どちらかに○印)	・ 会場で受け取る	/	/	/
	・ 送付希望(大会終了後送付)	/	/	/
全国大会参加	会員 2,100円	2,100円	/	/
	非会員一般 4,200円	4,200円	/	/
懇親会	一般(会員・非会員) 4,000円	5,000円	/	/
	学生 2,000円	2,500円	/	/
合計				

- 注1. 送料は、「第56回全国大会参加および論文集予約案内」をご参照ください。
 注2. 大会会場での受け取りを希望される場合の送料は不要です。
 注3. 送付を希望され、その後会場受け取りに変更の場合の送料は返金いたしません。
 注4. 大会受付での混乱を避けるため、代金の当日会場払いは受け付けません。
 注5. 大会会場でのCD-ROM販売価格は予約価と同額の6,300円(消費税込)です。

支払方法・現金書留で _____月 _____日送金
 ・郵便振替(00150-4-83484)で _____月 _____日送金
 ・銀行振込で・第一勧業銀行虎ノ門支店 普通 1013945
 ・東京三菱銀行虎ノ門公務部 普通 0000608
 以上、名義人 社団法人 情報処理学会
 ・東京三菱銀行虎ノ門公務部0003774(全国大会専用口座)
 名義人 社団法人 情報処理学会講習会
 _____月 _____日送金

送金人名義 _____

請求書類 請求書 _____通 見積書 _____通 納品書 _____通
 申込先 情報処理学会 事業係
 〒108-0023 東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7F
 E-mail: jigy@ipsj.or.jp Tel(03)5484-3535 Fax(03)5484-3534
 E-mailでお申し込みの際は、学会ホームページ (<http://www.ipsj.or.jp>) をご覧ください。

連絡・送付先

住所 〒 _____

機関・部課名 _____

氏名 _____ (会員番号: _____)

Tel() - (ext.) Fax() -

情報処理学会「行事」申込書

(本申込書は、お一人1枚でお申し込みください。)

- ・行事No., 参加費, 論文集代につきましては会告各行事欄をご参照ください。
- ・欠席の場合も参加費は徴収させていただきます。
- ・会員の方は必ず会員No.を記入してください。記入されていない場合は非会員とさせていただきます。

申込者 (Aは該当番号に○)				
A: 会員/非会員	(1) 会員	(2) 主催研究会登録会員	(3) 学生	(4) 非会員
B: 会員No.			C: ご氏名	
D: 勤務先			E: ご所属	
F: 郵便番号	G: ご住所			
H: Tel			I: Fax	
J: E-mail				

送本先, 照会先などが異なる場合は下記に記入のこと
K:

申込行事	
L: 行事No.	
M: 参加費	円
N: 懇親会費	円
O-1: 論文集のみ	円
O-2: 論文集のみ	冊

アンケート*宿泊付行事のみ記入 (部屋割参考)	
P: 性別	(1) 女性 (2) 男性
Q: たばこ	(1) すう (2) すわない
R: 年齢	(1) 20代 (2) 30代 (3) 40代 (4) 50代以上
S: 通信欄	

T: 支払方法 (該当番号に○)	(1) 第一勧業銀行虎ノ門支店 普通 1013945 (月 日に送金予定) *	
	(2) 東京三菱銀行虎ノ門公務部 普通 0000608 (月 日に送金予定) *	
	(3) 郵便振替 (00150-4-83484) (月 日に送金予定) *	
	(4) 現金持参	
	(5) 現金書留	
	[名義人はいずれも (社) 情報処理学会] * : 送金日が分かる場合, 記入のこと	
U: 送金名義人		
V-1: 請求書 通	V-2: 見積書 通	V-3: 納品書 通
W: 請求書記載名義		
X: 送金に関する照会先		

<p>申込先 (社) 情報処理学会 研究会/事業係</p> <p>〒108-0023 東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7F</p> <p>Tel(03)5484-3535 Fax(03)5484-3534 E-mail:sig@ipsj.or.jp (研究会・シンポジウム)</p> <p style="text-align: right;">E-mail:jigyo@ipsj.or.jp (事業・全国大会・連続セミナー)</p> <p>*E-mailでの申込み: 各項目はカンマ(,)で区切り, (1) ... (5) は選択, その他は文字を記入のこと。</p> <p>[例] A: (1), B: 999999, C: 情報太郎, ... T: (1) (1月30日送金予定), U: 情報太郎, V-1: 1, V-2: 1, V-3: 1, W: (株) ××電気, ...</p>

情報処理学会「書籍」申込書

(本申込書は、お一人1枚でお申し込みください。)

申込者					
A：会員／非会員	(1) 会員	(2) 学生会員	(3) 賛助会員	(4) 購読員	(5) 非会員
B：会員No.			C：ご氏名		
D：勤務先			E：ご所属		
F：ご住所	〒				
G：TEL			H：Fax		
I：E-mail					

送本先、照会先などが異なる場合は下記に記入のこと
J：照会先／送本先

「購入希望書籍」リスト			
書籍名／コード名	希望部数 (冊)	単価 (円)	金額 (円)
K-1-(a)：	K-1-(b)：	K-1-(c)：	K-1--(d)：
K-2-(a)：	K-2-(b)：	K-2-(c)：	K-2--(d)：
K-3-(a)：	K-3-(b)：	K-3-(c)：	K-3--(d)：
K-4-(a)：	K-4-(b)：	K-4-(c)：	K-4--(d)：
K-5-(a)：	K-5-(b)：	K-5-(c)：	K-5--(d)：
K-6-(a)：	K-6-(b)：	K-6-(c)：	K-6--(d)：

M：支払方法	(1) 第一勧業銀行虎ノ門支店 普通 1013945 (月 日に送金予定) *	
	(2) 東京三菱銀行虎ノ門公務部 普通 0000608 (月 日に送金予定) *	
	(3) 郵便振替 (00150-4-83484) (月 日に送金予定) *	
	(4) 現金持参	
	(5) 現金書留	
	[名義人はいずれも (社) 情報処理学会] *：送金日が分かる場合、記入のこと	
N：送金名義人		
O-1：請求書 通	O-2：見積書 通	O-3：納品書 通
P：請求書記載名義		
Q：送金に関する照会先		

<p>申込先 (社) 情報処理学会 図書係 〒108-0023 東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7F E-mail: tosho@ipsj.or.jp Tel(03)5484-3535 Fax(03)5484-3534 http://www.ipsj.or.jp/tosho.htmlからもお申し込みいただけます。 *e-mailでの申込み：各項目はカンマ (,) で区切り, (1) ... (5) は選択, その他は文字を記入のこと。 [例] A： (1), B：999999, C：情報太郎,... K-1-(a)：情報処理Vol.38 No.3, K-1-(b)：1, K-1-(c)：1600, K-1-(d)：1600, M： (1) (1月31日送金予定), N：情報太郎, O-1：1, O-2：1, O-3：1, P：(株)××電気,...</p>
--

平成10年度学会誌モニタ申込書

宛先：情報処理学会 学会誌編集係
Fax(03)5484-3534 E-mail:editj@ipsj.or.jp

フリガナ
氏名

会員番号 ()

住所 〒

所属

E-mail:

Tel () -

Fax () -

年齢 () 歳

得意とする分野

()

会告体裁の変更について

本号より会告を別冊化し、体裁および掲載順を一部変更しましたのでお知らせいたします。みなさまのご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。ご意見等がありましたら学会誌編集係までご一報ください。

本誌掲載

- 当月号掲載論文一覧
- IPJSJカレンダー
- 人材募集
- 有料会告

付録（会告）掲載

- 1) 会告目次
- 2) IPJSJカレンダー
- 3) 参加者募集
- 4) 論文募集
- 5) その他のお知らせ
- 6) 支部だより
- 7) 会議案内（協賛・後援）
- 8) 理事会報告
- 9) 採録原稿
- 10) 新規入会者
- 11) 各種申込書

入会申込書 (正会員・学生会員)

申込日: 年 月 日

<input checked="" type="radio"/> 会員種別 <input type="checkbox"/> 正会員 <input type="checkbox"/> 学生会員		卒業予定年月: 年 月		<input type="radio"/> 専門分野コード表 チェックは5つまで、名簿掲載可能(1つ)を○で囲んでください。	
氏名(漢字) 氏名(カナ) 氏名(ローマ字)				大項目 中項目 <input type="checkbox"/> 01基礎理論と基礎技術 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 01情報数学 <input type="checkbox"/> 02非線形力学 <input type="checkbox"/> 03アルゴリズム理論 <input type="checkbox"/> 04オペレーションズリサーチ <input type="checkbox"/> 05確率・統計 <input type="checkbox"/> 06数値計算 <input type="checkbox"/> 07数値シミュレーション <input type="checkbox"/> 08高性能計算 	
性別 <input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女 生年月日 年 月 日				<input type="checkbox"/> 02人工知能と認知科学 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 01知識処理 <input type="checkbox"/> 02人工知能システム <input type="checkbox"/> 03自然言語処理 <input type="checkbox"/> 04生体情報処理 <input type="checkbox"/> 05感性情報処理 	
機関誌発送先 <input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 勤務先(個人) <input type="checkbox"/> 勤務先(一括) グループコード:				<input type="checkbox"/> 03メディア情報処理 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 01音声言語情報処理 <input type="checkbox"/> 02画像信号処理 <input type="checkbox"/> 03画像・図形認識 <input type="checkbox"/> 04コンピュータグラフィクス <input type="checkbox"/> 05テキスト処理 <input type="checkbox"/> 06メディア処理装置 <input type="checkbox"/> 07マルチメディア処理 	
<input type="radio"/> 連絡先E-mail <input type="radio"/> 自宅 住所 〒 Tel Fax				<input type="checkbox"/> 04ソフトウェア <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 01基礎理論 <input type="checkbox"/> 02プログラミング言語と仕様記述 <input type="checkbox"/> 03言語処理系 <input type="checkbox"/> 04ツール <input type="checkbox"/> 05ウィンドウシステム <input type="checkbox"/> 06オペレーティングシステム <input type="checkbox"/> 07プログラミング技術 	
<input type="radio"/> 勤務先 住所 〒 在学学校 Tel (内線) Fax 名称 所属 職種				<input type="checkbox"/> 05データベース <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 01データベース <input type="checkbox"/> 02情報学基礎 	
DM <input type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> 不要				<input type="checkbox"/> 06ソフトウェア工学 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 01開発技術 <input type="checkbox"/> 02テスト・保守・管理 <input type="checkbox"/> 03ソフトウェアプロセス <input type="checkbox"/> 04開発環境 <input type="checkbox"/> 05ヒューマンファクタ <input type="checkbox"/> 06ソフトウェア品質 	
他学会在会 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 電子情報通信学会 会員No. <input type="checkbox"/> 電気学会 会員No. <input type="checkbox"/> 照明学会 会員No. <input type="checkbox"/> 映像情報メディア学会 会員No. <input type="checkbox"/> その他 会員No. *上記4学会に在会の方は、「在会証明書」を添付してください。 入会金が免除になります。				<input type="checkbox"/> 07ハードウェア <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 01基礎理論 <input type="checkbox"/> 02論理回路 <input type="checkbox"/> 03デバイス <input type="checkbox"/> 04計算機アーキテクチャ <input type="checkbox"/> 05メモリ・I/Oアーキテクチャ <input type="checkbox"/> 06設計技術と設計自動化 	
<input type="radio"/> 卒業学校名 卒業年月 年 月				<input type="checkbox"/> 08並列処理 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 01並列処理アーキテクチャ <input type="checkbox"/> 02並列処理ハードウェア <input type="checkbox"/> 03並列処理ソフトウェア <input type="checkbox"/> 04並列処理応用 	
入会の動機 連絡事項				<input type="checkbox"/> 09ネットワーク <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 01通信技術 <input type="checkbox"/> 02ネットワーク管理 <input type="checkbox"/> 03コンピュータネットワーク 	
バックナンバー <input type="checkbox"/> 学会誌: 月号~ <input type="checkbox"/> 論文誌: 月号~				<input type="checkbox"/> 10システム <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 01システム技術 <input type="checkbox"/> 02グループウェア <input type="checkbox"/> 03インタフェース <input type="checkbox"/> 04対話型システム <input type="checkbox"/> 05オンラインリアルタイムシステム <input type="checkbox"/> 06制御システム <input type="checkbox"/> 07システム評価 	
注. 入会時にお支払の会費・論文誌購読費はバックナンバー希望月から充当します。 バックナンバーを希望しない場合は入会承認の翌月号から配布となります。				<input type="checkbox"/> 11信頼性と安全性 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 01信頼性 <input type="checkbox"/> 02機密保護 	
送金(予定)日 月 日 入会時費用一覧				<input type="checkbox"/> 12教育 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 01教育 	
金額内訳		正会員 学生会員		<input type="checkbox"/> 13応用 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 01企業等への応用 <input type="checkbox"/> 02工学等への応用 <input type="checkbox"/> 03音楽への応用 <input type="checkbox"/> 04人文科学への応用 <input type="checkbox"/> 05障害者補助 <input type="checkbox"/> 06その他への応用 	
入会金 ¥ 入会金 ¥2,000 入会金 ¥ 免除 会員費 ¥ 正会員費 ¥9,600 学生会員費 ¥4,800 論文誌購読費 ¥ 論文誌購読費 ¥6,930 (希望購読) 合計 ¥				<input type="checkbox"/> 14その他 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 01社会 <input type="checkbox"/> 02その他 	
送金方法 <input type="checkbox"/> 郵便振替00150-4-83484 <input type="checkbox"/> 第一勧業銀行虎ノ門支店 (普)1013945 <input type="checkbox"/> 東京三菱銀行虎ノ門公務部(普)0000608 <input type="checkbox"/> 現金書留 <input type="checkbox"/> 現金持参					
** 入会後の会費等の振込には、「口座自動振替制度」を是非ご利用ください。					
必要書類 <input type="checkbox"/> 請求書 通 <input type="checkbox"/> 納品書 通 <input type="checkbox"/> 見積書 通 <input type="checkbox"/> 郵便振替用紙					

記入要領

- 欄は該当するものにチェックしてください。
- 英数字ははっきりわかりやすく記入してください。
 難解なものには(ワカナ)等を付けてください。
 例. 英文字の0 (オ) と数字の0 (ゼロ), 英文字の1 (イチ) と数字の1 (イチ)
- は名簿掲載選択項目ですので、掲載不可の場合は、○の上に×を記入してください。
 ●は名簿掲載必須項目です。
- 性別、生年月日、卒業学校名・卒業年月については、必須データではありませんが、なるべくご記入ください。

[入会方法]

- (1) 「入会申込書」に必要事項をご記入のうえ事務局会員係宛に郵便またはFaxで送ってください。インターネットからのお申込の場合には、ホームページ (<http://www.ipsj.or.jp/>) の「入会申込書」をご利用ください。
- (2) 申込と同時に入会金、会費等もお振り込みください。
- (3) 入会締切は毎月中旬で、理事会承認後に「入会承認通知」にて会員番号をお知らせいたします。その際、定款を同封いたしますので、内容をご確認ください。

◇平成10年度各種料金

	入会金	会費	学会誌	論文誌	研究会登録
正会員	2,000円	9,600円	無料配付	6,930円*	有料（毎年改定）*
学生会員	免除	4,800円	無料配付	6,930円*	有料（毎年改定）*
海外会員	—	5,700円	無料配付	6,930円*	有料（毎年改定）*
賛助会員	—	1口 50,000円	無料配付	6,930円*	口数により優遇*
国内講読員	—	—	1口 28,224円（学・論セット）*	—	—
海外講読員	—	—	—	6,600円	—

*は、消費税込の金額となります。

◇振込口座 郵便振替 00150-4-83484
 第一勧業銀行 虎ノ門支店 (普) 1013945
 東京三菱銀行 虎ノ門公務部 (普) 0000608
 名義人 社団法人 情報処理学会

[会費等の支払方法]

入会后、次年度以降の会費等の振込には、「口座自動振替制度」を是非ご利用ください。

[会員資格]

会員資格は、毎年度（4月～翌年3月）自動継続となります。

退会、死亡、除名*1等によりその資格を喪失します。

*1.会費の滞納が1ヶ年以上におよぶ時は、その直後の総会の議決を経て除名することがあります。

[変更連絡/退会/各種問合せ方法]

各種連絡/問合せには、なるべくE-mail, Fax, 郵便をご利用ください。

- (1) 住所等会員データに変更が生じた場合には、速やかに「変更連絡届」（情報処理付録掲載）の書式に従い変更内容を会員係に連絡してください。
- (2) 退会を希望する場合は、「退会届」（会員番号・氏名・退会年月・退会理由）を必ず会員係に提出してください。
- (3) その他の各種問合せについては、該当する係にご連絡ください。

◇各種問合せ先

〒108-0023 東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7F
 Tel 03-5484-3535 Fax 03-5484-3534

担当係	E-mail	項目
会員	mem@ipsj.or.jp	入会、会費、変更連絡、退会、在会証明
研究会	sig@ipsj.or.jp	研究会登録、研究発表会、シンポジウム
事業	jigyos@ipsj.or.jp	全国大会、連続セミナー
図書	tosho@ipsj.or.jp	出版物購入
学会誌編集	editj@ipsj.or.jp	学会誌「情報処理」の掲載内容
論文誌編集	editt@ipsj.or.jp	「情報処理学会論文誌」への投稿
規格	standard@itscj.ipsj.or.jp	標準化フォーラム 〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館308-3 Tel(03)3431-2808 Fax(03)3431-6493